

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）  
（489）

2. 日時：令和5年4月11日 13時30分～14時40分  
14時50分～16時05分  
16時10分～17時20分

3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

宮本上席安全審査官※、片桐主任安全審査官、秋本安全審査官

技術基盤グループ シビアアクシデント研究部門

金子主任技術調査官※、菊池技術研究調査官、坂田技術研究調査官、  
平等技術研究調査官、堀田技術参与

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他19名

原子力事業統括部 泊発電所 制御保守課※、他29名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応について」（令和4年3月9日 第70回原子力規制委員会配付資料）に基づき、一部対面で実施した。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料 1.15 事故時の計装に関する手順等（SAT115 r. 5. 0）
- （2）泊発電所3号炉 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料 比較表 1.15 事故時の計装に関する手順等（SAT115-9 r. 5. 0）
- （3）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（重大事故等対処設備） 2.15 計装設備【58条】（SA58 r. 5. 0）

- (4) 泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 補足説明資料 58条(SA58H r. 5. 0)
- (5) 泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 比較表 2. 15 計装設備【58条】(SA58-9 r. 5. 0)
- (6) 泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について(重大事故等対処設備) 補足説明資料 比較表 58条(SA58H-9 r. 5. 0)
- (7) 泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト(第58条 計装設備)
- (8) 泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 技術的能力 1.15 事故時の計装に関する手順等
- (9) 泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 第58条 計装設備
- (10) 泊発電所3号炉 技術的能力審査基準及び設置許可基準規則への適合状況について 技能1.15/第58条
- (11) 泊発電所3号炉 今回提出の審査資料に対する記載適正化予定リスト 技術的能力 1.15 事故時の計装に関する手順等
- (12) 泊発電所3号炉 今回提出の審査資料に対する記載適正化予定リスト 第58条 計装設備
- (13) 泊発電所3号炉 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料 1.0 重大事故等対策における共通事項(SAT100 r. 4. 8)
- (14) 泊発電所3号炉 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料 比較表 1.0 重大事故等対策における共通事項(SAT100-9 r. 4. 7)
- (15) 泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト(技術的能力 1.0 重大事故等対策における共通事項)
- (16) 泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 技術的能力 1.0 重大事故等対策における共通事項
- (17) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 6. 重大事故等への対処に係る措置の有効性評価の基本的考え方(SAE6 r. 6. 0)
- (18) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 6. 重大事故等への対処に係る措置の有効性評価の基本的考え方(SAE6-9 r. 6. 0)
- (19) 泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 有効性評価 6 重大事故等への対処に係る措置の有効性評価の基本的考え方
- (20) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価「雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過温破損)」「高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」「水素燃焼」「解析コード」

- (2 1) 泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト (有効性評価 6 重大事故等への対処に係る措置の有効性評価の基本的考え方)
- (2 2) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.5 溶融炉心・コンクリート相互作用 (SAE725 r. 8. 0)
- (2 3) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.5 溶融炉心・コンクリート相互作用 (SAE725-9 r. 7. 0)
- (2 4) 泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト (有効性評価 7.2.5 溶融炉心・コンクリート相互作用)
- (2 5) 泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 有効性評価 7.2.5 溶融炉心・コンクリート相互作用
- (2 6) 泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価「溶融炉心・コンクリート相互作用」(審査会合における指摘事項回答)

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	規制庁の本本でそれでは本日のヒアリングを開始します泊3号炉の重大事故等対策の有効性評価と、あとは、事故時計装等ですねやっていきたいと思います。
0:00:17	はい。それではまずは、有効性評価の基本的考え方ということで非事業者から説明をお願いします。
0:00:29	はい。北海道電力の青木です。それは基本的考え方の方でまずは資料5-4で、パワーポイントを簡単に説明させていただきたいと思います。
0:00:54	こちらの資料は4月27日向けの審査会合用資料になっておりまして、最後の20、
0:01:01	8ページ。
0:01:05	後ろから2枚目ですかね。お願いしますこちら河瀬行動。
0:01:08	になっております黄色マーカーの部分直しておりますもともとまとめ資料の添付資料に、記載の充実を図っているという記載だったんですけども、申請書の付録3として、
0:01:19	付けるということにしましたのでこのような記載に変更しております。
0:01:24	パワポの修正については以上です。
0:02:48	規制庁秋本です。とりあえず、パワーI Vは何か、今の解析コード部分だけですかね、コメント何かありますか。
0:03:00	とりあえず意図としては、透明資料の、
0:03:04	設置変更許可申請書に関わる解析行動の記載についても充実を図っているという認識でよろしいでしょうか。
0:03:15	はい。大木です。おっしゃる通りです。
0:03:35	規制庁秋本ですわかりました。じゃあ、藤いう※駅のヒアリングのコメント回答ですかね。はい。
0:03:43	お願い資料5-5。
0:03:46	に基づきましてヒアリングのコメント回答をさせていただきます。
0:03:54	ナンバー1ですけどもこちら新規で作成した資料ですね、こちら
0:04:00	4項目に大別したっていうところに対してPRAをなぜこの4事象を抽出したのか示すということで今ちょっと資料作成中で後日回答予定というふうにさせていただいております。
0:04:11	ナンバー2ですけども、こちら添付資料に関する指摘です。コメントでしてコンクリート製の違いによる評価結果への影響について考察を追加することということで比較表、資料5-2になりますけども、
0:04:26	資料5-2の添付

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:29	添 6.5. 9-1 ページをお願いします。
0:04:45	1 ページになります。
0:04:50	はい 1 ページ目の中段辺りで、三行ぐらい黄色くマーカーしてるところですね、侵食量が減少するということに対しては、
0:04:58	玄武岩系コンクリートに比べ石灰岩系コンクリートの余裕潜熱が大きく、また融点も高いと、そのため侵食が少なくなるためと、少なくなる
0:05:08	考えるという記載、その下が、は、発生するガスについての考察ですけどもこの原因は、玄武岩系コンクリートに比べ石灰岩系コンクリートガスが発生しやすい傾向の骨材ではあるが、
0:05:20	コンクリート侵食量が微々たるものであることからガスの発生量が限定的であるためと考えるということで、記載を追加しております。
0:05:29	合わせて、ヒアリングのコメントではないんですけど次、次の 2 ページ。
0:05:36	ですけども、1 ページ目から 2 ページ目、3 ページ目にかけて表がありますけどこちらの上の記載、ベースケースっていう部分、
0:05:44	記載を統一して修正しております。
0:05:47	またこのマスキングの記載なんですけども、女川が、表 2 ページですね、2 ページの女川の表の 4-2 ですけども、代表的なコンクリート製 0 ということで、
0:05:58	37 番の文献、これ NUREG なんですけども、参照しております。
0:06:02	藤間瀬に対して泊の方は、PWR の代表的な組成を記載しておりますてまあ、ちょっとメーカーノウハウというところなのでここはマスキングが必要になるというふうに考えております。
0:06:15	また水素燃焼の方の資料ではこれに関連するような数字も、マスキングなしで、
0:06:20	載ってはいるんですけどもそちらはこの数字を直接使ってるわけではなくて丸めた数字になっているため、大井土肥をそちらはマスキングなしと。
0:06:28	ということで、整理させていただいております。
0:06:34	はい。資料 5-5 に戻りまして、ヒアリングコメント No. 3 ですけども、
0:06:41	CV バイパスの SG 伝熱管の破断箇所について確認の上説明することと、
0:06:45	ということで回答概要に記載しておりますけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:49	蒸気発生器伝熱管破損位置に関しては※で、以下の注記を追記したということで破断箇所は、漏えい量の観点から低温側配管が接続する出口水室。
0:07:00	の看板直上を仮定ということで庭園低温側の方が、密度が高くなりまして漏えい量が多くなるということで、そういう保守的な設定をしているということを注記しております。
0:07:11	またSGTRに関しましては炉心損傷を防止する対策のため炉心が損傷していない状態での評価となりますので、炉漏洩量
0:07:21	被ばくやセシウム130の公衆評価の観点からも、厳しいとはならない。
0:07:27	という事象になっております。
0:07:31	はい。都築ナンバー4ですけども、
0:07:34	米の文書に関してということでこちら比較表で、具体的に説明させていただきます資料5-2の29ページをお願いします。
0:07:53	はい。本文側の比較表ですけど29ページの真ん中の青い部分ですね、停止時の
0:08:01	事故シーケンスグループのところのところ、
0:08:04	長井なんて青い部分追加してますけども、この内容というのは、そういうところに記載してますけども、
0:08:10	従来のお泊り説明内容と同等であり、大飯とも、考え方は同様ですという旨追記しております。
0:08:17	続いて、ナンバー5ですけどもこちら。比較表でご説明いたします51ページをお願いします。
0:08:35	はい、51ページの上の部分ですね泊りの緑の部分ですけどこちら女川になるって追記した部分になりますが、内容としては大飯と同様ですよという運営を、そういうところに追記しております。
0:08:48	最後、ナンバー6ですけども、No.6は、こちら61ページ。
0:08:56	をお願いします。
0:09:06	はい61ページは想定事故のピットの状態ということで真ん中の、
0:09:10	cポツですね、泊りのCポツの部分で水温が100度まで上昇する時間の評価っていうのはピーエイの鎮目燃料ピット。
0:09:18	のみ数量を公示するというので、もともと実運用を考慮し、というな記載だったんですけども、改めて確認先が多いと同様の記載ができるというふうに判断しまして
0:09:28	大飯と同様に、温度上昇が条件が厳しくなるようにというふうに修正しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:34	はい。ヒアリングのコメント回答については以上でしてのほかに、
0:09:40	何点かちょっとご説明しておきたいところがありまして、比較表の2ページ、お願いします。
0:09:50	はい。比較表2ページの上から2行目のところ、泊の2行目ところですが、
0:09:55	ですけれども流れに合わせて、具体的な運転員と災害対策要員というのを追記してます。
0:10:00	続いて、
0:10:02	37ページ。
0:10:04	お願いします。
0:10:10	はい。こちらを上から3行目のところですが、実験等をもとに、もともといろいろ検証されたんですけど、
0:10:18	女川通りに妥当性が確認されというふうに修正しております。
0:10:23	続いて添付資料の方ですが、
0:10:26	添付の6.2. 2、
0:10:31	お願いします。6.2. 2の、
0:10:35	4ページですね。
0:10:39	はい。こちらの主語が不明瞭ということで、泊さんゴールではっている部分を、の記載を追記してます。
0:10:47	続いて、添付の6.4. 4。
0:10:53	お願いします。6.4. 4-30ページです。
0:11:02	はい。こちらもともと
0:11:05	色塗っていなかったんですけども、女川の資料に合わせて作成しておりますのでそういう箇所を色塗りましてそういう理由を追記しております。ここで福島。
0:11:15	第1原子炉発電所事故における未確認未説明事項として、(1)から30ページから31。
0:11:21	1ページにかけて、括弧1234と挙げてます(2)と(3)は、
0:11:25	女川とは異なる記載となっているというのが、色をつけたことで、明確になったのかな。
0:11:32	これらを抽出したフローに関しては現在今、
0:11:36	資料作成、進めているところでまた別途説明させていただきたいと思えます。
0:11:44	あと最後、
0:11:45	添付の6.5. 1、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:49	をお願いします。
0:11:53	の、10 ページですね。
0:12:01	こちら、泊の有効性評価で使用して一般データをまとめた添付資料ですが、ヒートシンクのデータを記載しております。
0:12:10	マスキングするので具体的な数字は述べませんがこちらの値に関しては、SBO+シールLOCAで、
0:12:19	MRELAPとここを使った解析でCVの内圧評価をしてるんですけどそちらで使用するヒートシンク量を記載していると。
0:12:26	ということになります。
0:12:27	で、他の添付資料なんかではMAAPで使用するようなヒートシンクの量を記載しておりますがちょっとそことは一致しないということになってますのでまた別途、
0:12:37	ヒートシンクの示し方については説明させていただきたいなと、示して説明させていただきたいなというふうに思っております。
0:12:44	はい。説明については以上となります。
0:12:54	規制庁アキモトでそれでは確認に入ります。
0:12:58	コメント回答関係で何かありますでしょうか。
0:13:05	では、コメント関係でなくても、全体でも構わないのはい、お願いします。
0:13:14	いいですか。
0:13:16	と減少規制庁堀田と申します。
0:13:20	世界半径コンクリートの侵食量に関する記述がありまして添付の6-5-9-1と、
0:13:28	いうところで、ちょっと、
0:13:32	重要なことは、これあくまで解析上ということで作るのか世界案。
0:13:37	コンクリートが侵食量が複数少なくなると。
0:13:40	で、甲斐関井のモデルとしては理解できますけど、女川よりかなり踏み込んだ書き方になってるんですけども、
0:13:48	実際に
0:13:51	実験等を見るとですね、操作が
0:13:55	明確につくということでもないように思っております、
0:13:59	ここまで書く必要があるのかなと。
0:14:02	いう。
0:14:03	ことです。いかがでしょう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:14:07	はい。青木です。おっしゃる通りです。これはあくまでマップの解析上の話でして、いろいろなMCCIの大規模実験、様々な実験ありますけれども、そういうのと、
0:14:18	それから、
0:14:19	試験からちょっと踏み込んだ、
0:14:21	内容を記載している。
0:14:23	ところも、おっしゃる通りあるのかなとは思いますが、
0:14:27	どうですか。
0:14:32	北海道電力芝田です。ここで我々述べたかったのは、あまり入力として湖西が小さいことで、解析に関して骨折を加え、
0:14:43	ではありますけれども今指摘あった通り実事象がこれほど明確かっていう点では、また違ったことも考えられるんで積極的にどうしても記載したいというものでは、
0:14:54	ない状況です。
0:14:59	どうもありがとうございました。気になるのはですね、
0:15:05	ABWRでは、
0:15:07	現場関係っていうか計算系のコンクリートで異方性侵食と、
0:15:12	これOECDのCCI実験で見られたことなんですけれどもそれについては、注意深く議論をして、結局MAAPのようなモデル他もそうなんですけどそういう法制ってのまだ解決してないので、
0:15:25	いずれにしても、実験結果を包絡しますよと、いうふうなことで説明を、
0:15:32	着手させたというのございまして、
0:15:34	要はそれ、そういうMCCIの、
0:15:37	モデルというのは、現状ではその
0:15:41	位を保守的に若干保守的に予測して、材料の違い微妙にこう予測するっていうなところを、あまりこう、言えないのかな。
0:15:52	どうも。
0:15:53	これ個人的意見かもしれませんが私のような考えの専門家は多いと思うんですね。そういうところでした、ですので、MAAPでたまたまこういう結果が出たといっただけを、
0:16:06	特筆すべきこととして残すのはどうかなっていうことを感じたので、指摘させていただきました。
0:16:17	はい。大木です。趣旨理解いたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:21	はい。ちょっとまた記載については検討させていただきたいと思います。
0:16:37	坂田です。系統図を見ながら、確認させてください。
0:16:42	比較表ですと、
0:16:45	添付の 6.3. 6。
0:16:49	. . . 6.
0:16:51	の 8 ページに、
0:16:54	代替格納容器スプレイポンプ準備に関するという記述で、系統図が載っているんですけども、これで、
0:17:01	少し確認させてください。
0:17:05	よろしいですかね。
0:17:06	前回のヒアリングの際に、この図でいうと、一番上に当たる、大体格納容器、
0:17:14	スプレイポンプ、この 1 台で炉心注入と格納用系。
0:17:20	内にできるかどうかという確認をさせていただいたんですけども、
0:17:23	そのときは、できないということでご回答いただいて、それに対して更問として、もし、この
0:17:32	スプレイポンプ類ですね、この系統図でいうと上 3 台のスプレイポンプ類が全部使えるような状態で、
0:17:40	下のⅡ、
0:17:43	高圧注水、注入と RHR。
0:17:46	が、両方とも使えない、下の 4 台が使えないような状況。
0:17:50	があると仮定した場合、
0:17:55	ポンプ 3 台あったとしても、炉心注入と、
0:17:59	格納容器スプレイを同時に行うことっていうのはできるのかなということを確認させてください。
0:18:06	はい。青木です。
0:18:08	はいスプレイポンプが 3 台ある場合に関しましては炉注とスプレイ同時にできるというふうに考えておりますけども、発電所の方から、どうですかね。
0:18:17	回答をお願いしてもいいですか。
0:18:21	北海道電力梅田です。
0:18:23	その上で代替格納容器スプレイポンプと、その下で、既設の補及び格納容器スプレイポンプでございますけど、格納容器スプレイポンプは健全な場合、こちらで格納容器内へスプレイが可能ですので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:39	そのスプレイ機能としてはそちらで確保可能となります。
0:18:43	その場合下の注はすべてできないという仮定でございましたので、そういった場合は、一度上の代替格納容器スプレイっていうか、でございましたので、
0:18:54	そういった場合、炉心注水に用いる、もしくはここに記載されてませんが、充填ポンプというポンプがございまして、そちらで炉心注水も可能といった、
0:19:05	設備構成になっておりまして、スプレイは塩ビ格納容器スプレイポンプ、炉心注水は、今申し上げた通り、代替格納容器スプレイポンプもしくは充填ポンプが使えるばそちらを用いると。
0:19:16	そういった対応となります。以上となります。青木ですけども、Bのスプレイポンプでスプレイしてる時って炉注できるんですか俺代替CSPで。
0:19:30	うん。
0:19:32	Pの格納容器スプレイポンプで、
0:19:36	炉心注水してる場合ですか。
0:19:38	スプレイしてる場合、このラインを使うからルソンとき炉注はできないのかなと思ったんですけど、ディスプレイ設備で炉注するっていうような感じになるんですかね。
0:19:47	いいですか。
0:19:50	失礼しました。Aの格納容器スプレイポンプで、
0:19:56	格納容器スプレイ、Bの格納容器スプレイポンプで窓代替炉心注水、そういった系統構成になります。
0:20:05	以上となります。
0:20:12	そうしますとこの、
0:20:14	系統でいうタイラインを使って、李委員。
0:20:18	Bのスプレイポンプ。
0:20:20	うん。
0:20:21	Bのスプレイポンプと、
0:20:23	この下向きの大きな矢印が書いてあるこれタイラインですかね、これを使って炉心注入ルーチン注入をすると。
0:20:37	Aのスプレイポンプは直接、
0:20:41	スプレイをすると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:43	わかりました。ありがとうございます。そうすると、このAのスプレイポンプが使えずに、代替格納容器スプレイポンプとBスプレイポンプ、この2台の状況だと。
0:20:54	同時注水は可能かどうか確認させてください。はい。大木ですけどその場合は、どちらかになります。このただ先ほど三田が申した通り他にもですね、充填ポンプっていうポンプがありましてそういうの、そのポンプでも炉心注水できますし、可搬型のものを用いても炉心注水できるという形になっております。
0:21:16	清長阪田です。ありがとうございます。そうすると、炉心注水できる。
0:21:21	炉心注水とCVスプレイを同時に考えたとき、同時に実施できるポンプと、
0:21:27	同時に使えないポンプというなんていうか、組み合わせのようなものが出てくると思うんですけども、手順書等、手順書等ではそのようなこの組み合わせや運用方法っていうのは、事前に、
0:21:40	整備されているのか、その場の判断になってくるのか。
0:21:44	もしわかれば教えていただきたいです。
0:21:49	古谷さんの方からお願いします。
0:21:52	あと北海道電力古家でございます。
0:21:55	全交流動力電源喪失するような仮ポンプに限られたような場合に、
0:22:02	スプレイするのは大体格納容器スプレイでちょっと注水できるのは、充填ポンプだけというような状況になりますので、そういう
0:22:13	どういうときに、どういうものを使えるのかというのは整理をしております、技術的能力のですね、
0:22:19	1.6だったと記憶しておりますけど、添付資料で整理しているものがございますので、そちらで整理してご説明するのかなというふうに思います。
0:22:33	わかりました。
0:22:37	ですけどちょっと更問で、
0:22:40	どうもいつもタイラインを見ると、1本しか書いてないんですけど、今日いただいた、
0:22:46	636--Searchのこの右図を見ると、
0:22:51	一つの配管でスプレットタイライン側に分岐してるということを書いてるのかそれとも実際これ複数あって、
0:23:00	分岐はなくて、ある配管はスプレイ側に行つてある配管はタイライン側に行くのか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:08	ちょっとその辺、基本的なところですけど教えていただけますか。
0:23:14	そうですね同時にその紙もとは一つの配管なんだけど途中で枝分かれして、
0:23:20	格納容器スプレイと、炉注側、ここうなると多分、どれだけの流量がいつてるかっていうところも、
0:23:28	継続しないとわからない話かなと思うんですね。
0:23:32	あと北海道電力古屋でございます。
0:23:35	概略系統図の通りですね、Bの格納容器スプレイポンプの出口ラインで、
0:23:41	スプレイ側と注水側の原子炉への注水側と分岐配管分岐してございます。使い方としては
0:23:54	炉心が損傷するような事象の場合にはCVへの注水、下部への注水を優先して使いますしその場合は、原子炉側への注水のラインは閉めておく。
0:24:07	ということでスプレイに確実に流れるように系統。
0:24:11	を作ります。
0:24:13	炉心注水をしていて、例えばそのCVスプレイに切り替えるって場合もですね、
0:24:21	注スプレイ側と注水がきちんとその弁で切り換えて、
0:24:27	いや、行いますので、何でしょう、殊、必要な系統に必要な量を、辨野。
0:24:37	切り換えできちんと系統構成をして注水するという手順になってございます。
0:24:42	規制庁堀田ですけども、確認ですけど、同時に枝分かれして流れることとは今聞こえませんが、やはりいずれにしても弁を片方が閉じて、肩を開けて、
0:24:54	ということですよ。それは、これは私の理解と一致はします。
0:24:59	あとその場合多分同時注水。
0:25:02	ていうのは、
0:25:05	一方は、要するに高圧受先ほどSBOのときに言われた高圧充填の場合は、平なんか関係ないですから、平良は使わないときは同時注水ってのはやりやすい。
0:25:15	かなと思うんですね、実際に。
0:25:17	多分技術的能力でもそのようなことが書いてあると思います。で、
0:25:22	ちょっと技術的能力の先どうなっちゃうかもしんないですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:26	水源は共通ですよ。RWS Tだと、
0:25:30	管理はどうしても項目、目的はですね多分
0:25:35	事前注水キャビティに水は利用する、十分な時間が稼げるように、炉心損傷した後でも、老人、
0:25:43	負荷ベッドが壊れるのを遅延させるということだと思ってるんで上同時注水ってのは合理的だと思うんですけど、でも水源の管理ってありますよね。
0:25:52	それは、なかなかどこを読んでもわからなくてですね。
0:25:56	キャビティの水位で見るとかそれともRWS Tのあるところの、
0:26:01	水の原料、
0:26:03	減った分でその減った分だとしたらそれは、キャビティ水量に対応してるのかどうかですね。
0:26:09	そしたら、
0:26:12	あと北海道電力古谷でございます。
0:26:18	全交流動力電源喪失とか例えば大LOCAが起きた状況で炉心損傷するような状況。
0:26:26	ですと
0:26:28	有効性評価のタイムチャートとか手順の方でもお示ししてます通り強い代替格納容器スプレイによるスプレイとCVへの注制度ですね。
0:26:39	充填ポンプでの注水現象への注水と、
0:26:43	いうのを行いますで、
0:26:45	水源管理としましては格納容器スプレイとその原子炉への注水を行って、
0:26:53	燃料取替用水ピットが同じ水源ですので下がりますので、すると水源補給の手順がございまして、
0:27:04	注水が必要になってるなって、燃料取替用水ピットの水位が下がれば、補給の準備を開始するという状況になります。
0:27:14	燃料取替用水ピットとしては1700立米ぐらいございまして、CVスプレイが140立米で、
0:27:22	注水が30立米ぐらいですので、大体10時間ぐらいは確保できるのかなと思っています。
0:27:29	その10時間のうちに、可搬のポンプ車がございまして、それで補給をするにしても、4時間、半ぐらいだったと思いますけれども、
0:27:44	その燃料取替用水ピットの水があるうちにですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:48	可搬で補給することができるというような手順も整備してございます。以上です。
0:27:56	今のお話からすると特にRWS Tの、もしもその補給が間に合わなかった場合の、
0:28:03	水源管理基準値みたいなものは、要するにどこかで炉注を止めて、キャビティ水が足りないのであればそっちに集中するとか、
0:28:13	そういう手順はないってことですね。
0:28:22	注水をいかに、別のモードに切り替えるっていう判断の手順はないってことですね。
0:28:48	当北海道電力古谷でございます。衛藤江藤CVスプレイ、それから炉心注水が成功した状態で、あと燃料取替用水ピットに補給が間に合いますのでその注水を、どちらか、
0:29:03	止めるとかですね、ということにはならないのかなと思いますけれども、CVの中にその注水できる上限の水量もございますので、
0:29:13	その水位が、上限値を監視、監視計器で完成してるんですけども、その上限値になれば注水を止める、
0:29:24	CVスプレイを止める。
0:29:25	原子炉容器水位、注水止めるというそういう手段はございます。
0:29:31	藤。
0:29:32	藤補給って言われたのは、
0:29:35	丹水源がどっかにあるってことですよね。
0:29:39	例えばプール、
0:29:40	池であるとかそういう別の耐水があって、それを確保できると。
0:29:46	ということですね。
0:29:49	北海道電力例でございます。
0:29:51	自主対策設備と呼んでますけども丹水源もございますし、あとSAの重大事故と対象設備としての水源としては海を活用いたします。
0:30:03	以上です。
0:30:33	ございました。
0:30:40	はい。規制庁菊池です。
0:30:42	先ほど話がございますが充填高圧について、何点が教えてください。充填高圧というのは、基本的に一次系から水がなくなるバイパス。
0:30:54	で使用されるかと思いますが、RCPシールLOCAのような小LOCAの場合、この時にも手順的には、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:02	この充填モードに移行するものなんでしょうか。こちら1点目です。お願いします。
0:31:14	青木ですけど発電所の方から回答お願いします。
0:31:22	北海道電力梅田です。
0:31:24	今は、全国動力電源喪失のR C P L O C A時の注水手段のご質問かとなりますけど、
0:31:33	一つは代替格納容器スプレイポンプで、先ほど申しました通り30立米ぐらいの注水確保します。
0:31:43	その向こうで、今お話ありました充填ポンプ、
0:31:48	こちらの自己冷却ラインを有しております、S B O時でも、
0:31:53	代替電源さえ確保すれば、事例できますので、そちらで注水する手段を確保可能という手順になっておりまして、
0:32:04	充填ポンプのその自己冷却ノート、こちらでの注水の対応可能と。
0:32:09	いった手順となっております。
0:32:11	以上となります。
0:32:14	わかりました。続いてところの、
0:32:17	添付資料5-1の、
0:32:21	添付6-1-1の15。
0:32:28	あ、比嘉
0:32:29	おんなじです。
0:32:31	はい。ここで名称(8)で、充填流量の調整というところございますが、こちら、加圧器の水位を見て、手順的には運転員のそのバルブ操作、
0:32:44	で、閉めたりあけたりするという行為ということで、
0:32:50	よろしいでしょうか。
0:32:51	青木ですけども、
0:32:54	S G Tや格納器バイパスのS G T R隔離失敗の時の手順ですけど梅田さん、お願いします。
0:33:07	北海道電力梅田です。
0:33:10	格納容器バイパスのときは、
0:33:13	サポート系は健全ですので、中央制御室で、この充填ポンプの利用調整は可能となっております。
0:33:21	先ほどありました通り、水位の目安としては、もう加圧器が抜ける部分は加圧器水位を維持すると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:33:29	いう形下の中央制御室で流量調整を行ってます維持に努めるといった手順となっております。以上となります。
0:33:40	はい、わかりました。ありがとうございます。以上です。
0:33:53	規制庁の片寄と比較表の51ページをお願いします。
0:34:03	ちょっと今回黄色ハッチングで追加してもらったと
0:34:08	記載の
0:34:10	泊の記載一番下で、破断箇所の選定の話があって、
0:34:16	水素処理の観点からっていう記載があるんですけど、
0:34:22	これ、特に後ろ側で、観点からどういうふうを選んだかみたいな説明が見当たらなかったんですけどそこら辺の記載でどっかにあるんでしょうか。
0:34:36	はい青木です。
0:34:39	C V破損に関しましてはC Vの圧力温度が高くなるようにホットレグ破断を想定しております添付の6.5. 12。
0:35:01	少々お待ちください。
0:35:44	青木図失礼いたします。添付の6.5. 4になります。
0:35:55	6.4、5.4がLOCA時の破断位置の設定についてということで運転中の受現象における重大事故に至る恐れがある事項、炉心損傷防止対策ではコールドレグ、
0:36:05	続いて2ページの方で重大事故ではホットレグということで整理しております。ただ、こちらの添付資料もちょっと水素、水素、
0:36:16	処理の観点からっていうのはちょっと記載がありませんでちょっともう一度記載は考えたいと思います。
0:36:22	あと90ヶ月なんか、
0:36:24	地下鉄の水素処理っていうより水素処理の有効性を確認するために水素がたくさん出るように破断箇所を設定してるみたいな意味で書かれてるっていう。
0:36:35	よろしいですか。
0:36:36	はい、大城です。その通りだというふうに理解してますちょっと文章、もう一度再考したいと思います。経常はぜひよろしくをお願いします。あとヒートシンクの話ちょっとありましたけどあれは、
0:36:48	ここが単ノードでまくって、このぐらい切っててそこを振り分けたりしてるから、
0:36:54	以上
0:36:55	与えたいという方が入力の方が異なってて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:59	いう話をされているという理解
0:37:03	青木ですおっしゃる通りです。
0:37:08	規制庁後
0:37:10	コンクリートの入力値は、一応メーカーノウハウということで、
0:37:17	青木ですけども、はい、おっしゃる通りです。
0:37:39	はい。規制庁柄沢です。私から以上です。
0:38:33	はい。大木ですけどもCCIの実験に関しては解析コードMAAPの資料の中のMCCIの中で考慮して、そのような記載になっていたと思いますけどちょっと確認させて、
0:38:48	はいちょっと確認させてください。
0:39:02	規制庁の平良と申します。
0:39:05	SGTRの破断箇所について記載いただきありがとうございます。
0:39:10	記載はこちらで良いと思うんですけど、
0:39:13	あと、
0:39:15	町ではなかったところですけども、右側に水があった場合にこれって解析の中で、プールスクラビング。
0:39:23	スクラビングって考えてるんでしょうか。
0:39:29	はい。大木です。
0:39:31	スクラビングとおっしゃってるのは多分、
0:39:36	SGの保有水で、大気に出てくる中での減衰といいますか放射性物の吸着といいますかそういうところの効果だと思うけどそういう効果は見込んではいないというふうに理解してます。
0:39:50	ありがとうございます。
0:40:00	規制庁秋元です。さっきのさっきの津川コメント回答の時の想定事項の
0:40:06	件で温度条件厳しくなるようにって書いてはいるんですけど、61ページのところで、ちょっと大丈夫だと思うんですけど想定事故一、二側の方も、
0:40:19	この観点で、
0:40:23	お金違うことにならないように、主
0:40:27	6ポツと、矛盾したことにならないようにしといていただければと思います。
0:40:32	はい。大木です。おっしゃる通りだと思っておりまして、6ポツは全事象に跨るものですので、また改めて今全事象ヒアリングやっておりますので、整合を図っていきたいというふうに思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:43	規制庁アキモトでそれで、添付の6.5. 7-3 ページ、S C使用済み燃料ピットの体数が黄色を発注されてるんですけど、これ何か間違ってたってことですか。
0:41:03	はい。青木です。はい。申しございませんこちよっと数字、改めて確認した結果間違っただという事で修正しております。
0:41:45	規制庁菊池です。先ほどS Gのスクラビングの効果を回答いただきましたが、これS G A管の外側の乱流沈着のような壁面に、
0:41:56	F P等が付着する。
0:41:58	といった現象は考慮しているのでしょうか。
0:42:04	はい大木です。
0:42:06	有効性評価の中では少なくともF Pの挙動というのは、模擬しておらず、熱流動解析といいますかプラント挙動を解析しているという形になります。次工事費僕とこだとそういうの見てるでしたっけ、テンジウの方の。
0:42:23	D F D Fで評価してるというふうに理解してます。
0:42:42	ございます以上です。
0:46:08	規制庁アキモトでそれではじゃあ、基本的考え方その他、質問コメントよろしいでしょうか。
0:46:16	はい。
0:46:17	ございます。
0:46:18	北海道電力からの説明は以上でいいですね。はい。では続いて、
0:46:25	M C C Iの説明をお願いします。
0:46:30	はい。青木です。
0:46:32	そしたらM C C Iですけど資料6-5でパワーポイントを用意してますのでまずこちらを説明させていただきますこちらは、先日の3月16日の審査会合での、
0:46:43	コメント回答になります。
0:46:45	1ページですけども指摘事項としてM C C Iに対する格納容器サンプの影響として、格納容器サンプのドレン配管の原子炉下部キャビティ側の目皿に対する説明を行っているが、
0:46:56	デブリが落下する状態を想定した場合にも、目皿に期待できるのか説明することということで回答ですけども、
0:47:03	デブリが落下してきた状態を想定した場合にも、目皿により固化したデブリがドレン配管に流入することを阻害する効果は一定程度あるとは考えると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:12	ただし、定量的に効果を示すことは困難なため溶融炉心の凝固評価は、目皿がない条件で評価を行っている。
0:47:20	そのため、評価上目皿に期待しないことが明確になるように資料を見直すということで修正前後を下に示しておりますが、修正後の赤い
0:47:28	箱文字の上の部分ですかね、評価上期待するものではないがということで、追記、
0:47:34	して中身をちょっと見直しております。また、最後の凝固評価のところですけども、原子炉下部キャビティのドレン配管入口に設置されている目皿がない条件にてというふうに、
0:47:44	記載を明確化。
0:47:45	しております。
0:47:47	こちらについては以上です。
0:47:50	規制庁秋本です。ではこの部分なんですけど、
0:47:55	趣旨、コメントの趣旨としては目皿2、目皿ってそもそも、
0:48:02	この状況で、
0:48:03	ある。
0:48:05	でしょっていう。
0:48:07	気持ちがあって、
0:48:09	いう点からしたら、
0:48:12	ドーン、これっての目皿って残ってるっていう考え方っていいんですけど。
0:48:19	はい。大木です。ちょっとなかなかその評価っていうのは難しいんですけども、事前に、
0:48:26	下部キャビティには水張を行いますので、水があるプールのところ溶融炉心が落下してきて、固まるというところを考えれば
0:48:36	瞬時に差圧が溶けるというふうには考えられないのかなというふうに思ってます。
0:48:42	規制庁脇本ですこれ修正後が一別に、
0:48:47	ここにも記載しなくてもいいんじゃないかなって。
0:48:52	思ったんですけど、そうではなくてどうしてもやっぱこれは、
0:48:57	書きたい。
0:48:58	いいですか。はい。青木です。おっしゃる通りでははい。そう、それも考えました。ただ当初我々としても一応目皿を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:07	の記載をしてましたので、ここには残したんですけども、全くもって目皿に記載してるものはありませんので目皿の北尾一切なくすと、全部消すということで問題ないと思います。
0:53:19	はい。大木です。いただいた、
0:53:22	コメントを踏まえましてまた資料の適正化して、出させていたいただきたいと思います。
0:55:38	規制庁秋本ですそれではじゃあ、続いて、ヒアリングのコメン等の回答ですかね、お願いします。
0:55:48	はい。青木ですけども、資料6-3で、2、MCCIのヒアリングコメント回答リストをつけております。
0:55:55	ナンバー1、2ですけどもともに添付資料7.2. 5.4に関するものですのでそちらのを開いてちょっとご説明させていただきます。その比較表、資料6-2の添付
0:56:09	7.2. 5.4をお願いします。
0:56:20	はい。添付7.2. 5.4が、MCCIに対する格納容器さんとの影響についてということで、1ポツ初めには先ほどお話をさせていただいた通りです。また修正したいと思います。
0:56:31	続いて233ページのところが、先ほど秋本さんおっしゃる通り、梅崎削除した部分であります。続いて5ページのところがヒアリングの回答になりまして、
0:56:42	5ページの図2に、ドレン配管を赤、
0:56:48	赤色で示しております。
0:56:52	また、指摘のナンバー2にあります別紙1に関しましては8ページから、
0:57:00	が別紙1になりまして、女川に合わせる形で修正、朝、新規に作成しております。
0:57:07	ただMAAPの解析結果等が異なる部分がありますのでその辺に関しては、泊のにおけるレベルの物性値を、を記載する形で見直したり、設計の条件が異なる場所がありますのでその辺の数字は変えていると。
0:57:21	ただ、いずれにしまして評価したところ、2.6メートルというところで十分デブリ凝固して固まるというふうに判断しております。
0:57:31	はい。資料の説明については以上です。
0:57:39	規制庁脇本です。では、確認に入りたいと思います。一応、6-3は、
0:57:48	あれですか、3、ナンバー3は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:53	何でできてないのか、っていうのをちょっと確認しています。失礼いたしました。ナンバー3ですけども、こちら永尾の補足説明資料をベースにですね、
0:58:05	資料作成中でして、
0:58:07	レベル医療、今保守的に見積もった想定で水面から出ないっていうのはある程度めどは見たんですがちょっと資料下に時間がかかっているということで、申し訳ありませんが、後日回答というふうにさせていただきます。
0:58:24	規制庁秋本ですわかりました。それではその他、いかがでしょうか。お願いします。
0:58:29	規制庁堀田です。まとめてお尋ねしたいことがございます。まず
0:58:35	添付資料7.2. 5.4のタイトルで、
0:58:39	溶融炉心コンクリート5歳に対する格納容器サンプの影響についてたんですね。ここの最初の部、グラントタイトルはサンプでいいのかなと思うんですが、実際土肥てるのはシャンプー、
0:58:50	2、いわゆるさ足してないのでドレーンにどこまで。
0:58:54	浸透するかって話ですよ。さらに違和感感じの3ポツのタイトルで、溶融、
0:59:01	格納容器サンプに溶融炉心が流入した場合の影響ということに留意してないですよ。
0:59:07	だから、これちょっと柏崎も見てみたんですがね。その辺は、違和感なくタイトルを選定して、
0:59:16	おられたと思うんで、もう少しここが工夫された方がいいのかなという、あります。はい。青木です。おっしゃる通りだと思いますちょっと女川に合わせて作成した関係で女川ではドレーン、
0:59:27	ドレンサンプでのMCCIの評価等をやっておりますので、それを泊やっていないところで柏崎を見ながら適正化したいと思います。
0:59:35	ありがとうございます。あとはですね7254-2。
0:59:41	ここにフレーミング組織があったんですが、この式では、実験と実機の数値比がかかってないですよ。
0:59:51	ところが5ページの方、
0:59:55	ここでは速度費がかかってるんですね。
0:59:58	数字も違ってらるんですね。
1:00:00	この差は何なんでしょうということです。
1:00:08	私の資料と別紙1の1ページ目ですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:12	すいません。
1:00:20	はい青木です。
1:00:23	別紙1の方はエプリアの試験の適用性ということで速度比を用いて計算したとしても、この程度になるということで、
1:00:36	別紙1の方が、速度比を考慮した厳しい評価になっているというふうに理解してます。それで、2.6と、笹前の2ページのところでは、諸費速度比を用いずに、
1:00:48	評価した場合で、ちょっとマスキングsので、具体的な数字はちょっと述べませんがそれよりも短い距離になるというところで評価してると。
1:00:57	いうふうに理解した。
1:00:58	規制庁堀田です。
1:01:00	ちょっと私お考えを伺う時もちゃんと見てなかったかもしれないですけど柏崎では両方とも速度比は考えて、
1:01:08	いたようですねちょっとそこで違和感を感じたので、
1:01:11	これかなりもともと保守的な考え方なんで、ちょっと考え方が整理されて、こちらの場合はこうと、こちらの場合はこうというふうなところ、
1:01:21	ちゃんと書かれていれば、
1:01:23	違う式が出てもそれは、
1:01:26	理解できる
1:01:27	ます。
1:01:28	そこをご配慮ください。
1:01:30	あと同じくこの別紙の式なんですけども、
1:01:35	小文字のPに見えるのはこれは密度の例ではないかなと思いますちょっと見紛らわしいので、どう、どういうふうに見えるようにした方がいいかなと。
1:01:45	はい、青木です。大変失礼いたしました。密度 $\rho$ で、はっきりわかるように修正したいと思います。
1:01:52	あとですね、すいません。規制庁堀田ですが、
1:01:57	この
1:02:00	図の2を見ますとですね。
1:02:05	マスキングじゃないかな、木、
1:02:07	はい。Q6なんか書いてあるんで、
1:02:09	修正したっていうのが、ですね、3ぷーは明らかにキャビティ湯カーの下を通ってますよね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:20	こういう場合は侵食を評価するのかな。
1:02:24	と柏崎7号との比較ではそう言うふうに、
1:02:29	理解します。
1:02:31	その場合
1:02:34	だ断面図ですね。
1:02:37	確かにこの断面図書いていただいているんですけど、ちょっとわかりにく いかな。
1:02:42	という感じはしなくもないですね。
1:02:46	確かにこの通り、
1:02:49	下に下がって、
1:02:51	水平に伸びて、
1:02:53	最後まとめました、こういうことでいいですね、その間は傾斜がない と。
1:02:58	はい。青木S Eの水平部は多少の勾配を設けております。全くの水平で はございません。
1:03:05	その辺をですね、もう少しわかりやすく書いた方がいいのかなと。
1:03:11	いう気はしてはしまして、それで、もう一つ
1:03:16	距離の考え方で、少し、
1:03:20	もう少し説明がいただきたいなっていうのは、果たしてこの距離を計算 する時にまっすぐ
1:03:27	落ちるところあるじゃないですか。
1:03:29	そこは距離に入ってるのかどうか、要するにこれH e a dですよ。H e a dで、
1:03:35	勢いが決まるんでそのH e a dってのは、デブリの堆積、
1:03:39	プラス、
1:03:40	下に落ちる配管、これも入るのかどうか。
1:03:43	その上で水平部分の距離を出してるところ、これは、
1:03:47	保守的っていうんであれば、綺麗な説明かなと思うんですけどそうそうな のかどうかってちょっと読みきれなかったですね。
1:03:54	はい。青木の議会では、今おっしゃった通りでして水平部の距離で考え るとヘッドの落ちる部分は考えずに、考えた時に水平はですね6.2メー トルあると。その中でも2メートル。
1:04:07	うん。2メートル程度で凝固して固まるということで散布にはいかない というふうに考えてます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:04:14	これは規制庁堀田ですけどもその辺を追記していただくとありがたいと。ちょっとさ、先ほど言いましたけどこれ床キャビティの床、
1:04:24	面の下部に、ファンネルが、
1:04:28	設置画面にファンネルがみたいのがあってその床下をドレンが走ってるんで、
1:04:35	KK7の場合は、柏崎7号の場合は、
1:04:38	ちょっと進捗を評価してます。
1:04:41	ここも、床の侵食の一部であるという考え方だと思うんですね。
1:04:45	実際評価してみれば、かなり保守的な評価をしても、
1:04:51	ああいう細長い形状ですから、
1:04:54	除熱はすぐされるので、
1:04:57	微々たるものですが、
1:04:59	一応横並びで比較するってことになるとその辺が、
1:05:03	ないなっていうところですね。
1:05:07	はい。青木です。
1:05:09	ちょっとKK6名の資料までは、確認しきれていなかったところがありますので、改めて確認して、資料をどのようにすべきか、検討したいと思います。
1:05:19	調達ありがとうございます以上です。
1:05:31	規制庁秋本ですその他、ウェブも含めていかがでしょうか。
1:06:35	清町秋本でそれではMCCI、全体通しても、特段ないっていいですかね。
1:06:42	はい。
1:06:43	じゃあ、有効性評価関係本日は以上でよろしいですかね。はい、じゃあ、10分休憩をして、次の
1:06:53	ものに入りたいと思いますじゃ10分休憩します。
1:11:40	規制庁秋本ですそれではヒアリング再開します。続いては軽装で58条と1.15ですと、まずは1.15の手順からですかね、説明をお願いします。
1:11:55	はい。北海道電力の油井です。技術的能力1.15の
1:12:03	ご提出したヒアリング資料からの変更点をまずご説明いたします。
1:12:12	資料1-8。
1:12:15	が
1:12:17	1.15の
1:12:19	適正化箇所リストになります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:22	こちら、
1:12:24	詳細な
1:12:26	ご説明は割愛させていただきたいと思うんですけども、変更の内容としては、また条文、
1:12:35	他の技能で、大いにあわせてパラメーターの変更。
1:12:39	行っておりますので、そのパラメータ変更の反映ですとか、
1:12:46	その他、
1:12:48	電源関係とか、
1:12:49	の条文の変更の反映。
1:12:52	側の主なものとなっております。
1:12:58	続きます、
1:13:01	今回本文以外の添付資料の
1:13:07	ご提出しておりますけども、
1:13:10	この中で
1:13:13	添付資料 1-15-3。
1:13:16	ですね。
1:13:18	こちら
1:13:20	こちらについて補足させていただきたいと思います。
1:13:24	資料で言いますと、
1:13:30	資料 1-2 の
1:13:33	ページが、
1:13:37	添付 1-15-55 ページを、
1:13:42	お願いします。
1:14:00	はい
1:14:02	すいません。
1:14:03	ちょっと間違えましたねすいません。
1:14:07	比較表の点数。
1:14:10	麻生です。
1:14:23	すみません、添付 1-15-55 ページ比較表。
1:14:28	になります。こちらの添付資料 1-15-3 は、技能 1.1 から 1. 14。
1:14:36	当間有効性評価のパラメータを集めてまとめている資料でございます、
1:14:44	この中で今回、パラメーターの反映及び女川さんの知見反映を
1:14:54	したものが 1.11. 2 と。
1:14:57	1. 11 になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:00	こちらの先行ず審査が先行しているものを反映した。
1:15:05	ものでございますけども、
1:15:08	歩可能範囲については、ちょっとまだ修正ができておらず、今後修正する予定というのを枠囲いで示しております。
1:15:24	あと、
1:15:27	先ほどお配りした今回ご提出した資料の適正化予定リスト。
1:15:35	資料で言いますと、1-11になります。
1:15:42	こちらですね、
1:15:45	内容としては先ほどの
1:15:47	適正化箇所リスト、資料、
1:15:51	1がちょっと内容的には
1:15:54	同様となっているんですけども、
1:15:58	他条文の反映とか、誤記等がございまして第、
1:16:04	ちょっとご確認しづらいものとなっております大変申し訳ございません。
1:16:09	ちょっと詳細は割愛させていただきますけどもご覧いただければと思います。
1:16:15	1. 15 側の変更のご説明は簡単ですが以上になります。
1:16:25	規制庁脇本ですそれでは確認に入りたいと思います。
1:16:34	規制庁秋本です。1. 15-5 ページなんですけど、
1:16:40	比較表の
1:16:42	資料 1-2 ですね。
1:16:45	2. 15-5 ページで、
1:16:48	※1 のところで、原子炉圧力容器内の温度、
1:16:52	てあるじゃないですか。
1:16:54	これは別に、
1:16:57	もう圧力入ってるから、特にこだわりがないのかなと思いつつ、
1:17:04	これはあれですか、基準に合わせたとかそういうイメージですか。
1:17:11	北海道電力の意味です
1:17:14	基準に合わせて、技術圧力容器としております。
1:17:25	規制庁アキモトですわかりました。で、16 ページですね。
1:17:31	これは全然、
1:17:34	比較表の記載だけなんですけどあの高さ合わせてねっていうのは大分金秋口去年の秋口ぐらいに言った話が、
1:17:44	あったので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:46	高さを合わせていただけたらと思う。
1:17:51	北海道電力油井です。大変申し訳ございません。修正いたします。
1:17:59	規制庁沖本です。1. 15-49 ページです。
1:18:06	真ん中ぐらい2、電気工作班員って出てくるんですけど、これは
1:18:15	電気工作範囲でよかった。
1:18:18	テスタ、
1:18:21	北海道電力古谷でございます。
1:18:23	明日、これからのヒアリングになるんですけども、
1:18:28	1.0の方ですね、復旧班の方に構成を、
1:18:34	見直しております班の構成を見直しておりますので
1:18:39	これは復旧範囲というふうに名称が変わるのかなというふうに考えてござ
1:18:46	います。
1:18:52	規制庁秋本ですというよりもあれなんです大井。
1:18:58	大井も女、女川内ですけど、
1:19:06	緊急安全対策要員っていうくくりにはしているんで、ちょっとくくり方
1:19:11	が、
1:19:31	違うのかなっていう、思っただけで、復旧班の話とか、
1:19:34	では、
1:19:45	北海道電力古谷でございます。
1:19:50	有効性評価とか常駐で対応する場合は災害対策要員とかという常駐の名
1:19:55	称を使うんですけど小中さんも書いてるんですけども、
1:20:00	参集要員とか緊対所の方から
1:20:05	移動性対応するような人たちは復旧範囲とかですね補修範囲とかそうい
1:20:10	うふうに女川さんも記載しておりますのでそれに合わせて、
1:20:15	電気工作範囲修正は必要ですけども、
1:20:20	名称は合わせているというふうに考えてございます。
1:20:25	規制庁の木本ですわかりました同じフェーズになっているということで
1:20:30	理解しました。
1:20:35	私からは以上ですが、片桐さんいかがでしょうか。
1:20:40	よろしいですか。
1:20:45	規制庁アキモトでそれでは1.15以上ですので、58条の説明をお願いします。
1:20:50	北海道電力江見です。
1:20:55	では58条側、まず

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:01	ヒアリング、コメント回答からご説明します。資料1-7をご覧ください。
1:21:11	うん。
1:21:14	こちらは58条の
1:21:18	環境条件等の適合性の記載のところで、
1:21:23	使用済み燃料ピット計器について
1:21:27	設置場所が、
1:21:30	燃料取扱棟で妥当なのかという、いたコメントをいただきましたけども、
1:21:37	回答としましては使用済み燃料ピットⅢ、AM用等の監視家間設備、
1:21:44	を設置している建屋目については
1:21:48	設置許可基準規則16条における整理結果、
1:21:53	あと、先行プラントの記載も踏まえて、燃料取扱棟としたいと考えております。
1:21:59	燃料取扱棟というのは伊方3号炉と同じ記載でして、比較表の
1:22:07	58-19、当該箇所にも、伊方3号炉さんの記載を
1:22:14	記載させていただきました。
1:22:18	回答は以上になります。
1:22:28	では、続きまして変更箇所についてご説明いたします。
1:22:34	すいません。
1:22:38	どうぞ。
1:22:39	宮本ですけど、いいすかね。はいどうぞ。ちょっと今のところのコメント回答のところなんですけど。
1:22:46	これ、明日ヒアリング用にね、竜巻で出されてる資料だと、原子炉建屋結構括弧燃料取扱棟で出されてきてるんですけど、これじゃ、
1:22:57	申請書上でこれ整理って、事業者として統一した見解で整理してます。
1:23:04	普通、
1:23:22	北海道電力江見です。
1:23:24	16条でこれご指摘いただいた時も大井さんが、
1:23:30	原子炉周辺建屋、燃料取扱棟、
1:23:34	という記載でまとまりはどうするのかっていう、問われたものでして、その結果燃料取扱棟と、
1:23:41	するということを整理させていただいてますので、
1:23:46	ちょっと立間キ一側についてもちょっと改めて確認して
1:23:51	整合を図りたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:53	以上です。
1:23:55	よろしくお願ひします要は 16 条のときはそういう整理新名なつてたんだけど結局その、そのあとの各条文の中で照らし合わせてきたときに、
1:24:05	いやその整理を変えなさいいけないなら別に変えてもらえばいいと思つてゐるので、変えてもらえばというかその故障を変えるとなり何なりつていう要は条文間で名前がいろいろコロコロ変わるのが一番よくないので、
1:24:18	事業者の方で確認していただければと思ひます。はい私は以上です。
1:24:25	はい、ありがとうございます。SA 側も、一応、
1:24:32	統一した考え方でやっていただければと思ひますもちろん DB も合わせてやってくださいというところですね。はい。
1:24:42	その他の説明
1:24:43	をします。
1:24:46	はい。北海道電力江見です。続きまして 58 条の変更箇所をご説明いたします。
1:24:54	前回、ヒアリング資料、
1:24:57	の
1:24:59	からの変更点は、資料、
1:25:01	1-8 の適正化箇所リストにまとめてございます。
1:25:06	こちらも 1. 15 と同様な内容になっておりまして、説明は割愛させていただきます。
1:25:17	あと、58 条についても、今回添付資料と補足説明資料を意識ご提出しておりますけども、
1:25:28	一つ、資料について補足させていただきますと、補足説明資料 58 の中に、別紙。
1:25:37	という資料の中ですね、別紙 4、こちらが原子炉下部キャビティ水の流入について、流入についてという、
1:25:45	資料で、こちら
1:25:49	ただ
1:25:51	すいません、比較表で言いますと、
1:25:58	資料 1-6 の方、
1:26:01	58 の 10、
1:26:04	58-12-20 ページ。
1:26:07	をご覧いただきたいんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:13	こちら
1:26:17	まだ大井さんの
1:26:20	反映がまだできておりませんで、こちら 51 条の補足説明資料の 51-7 と同一の資料でございます、
1:26:32	51 名の進捗を踏まえて、58 条にも反映したいと考えております。
1:26:41	あと、
1:26:43	先ほどお配りしました今回ご提出した資料。
1:26:49	の
1:26:51	適正化予定リストですね、こちら資料の 1-12 になりますけども、こち らの誤記とか、条文の反映ができていないという、
1:27:03	内容になっていますので
1:27:05	ご覧いただければと思います。
1:27:08	簡単ですがご説明は以上になります。
1:27:30	規制庁の片桐衛藤 58 条の方の補足ホ-58 の
1:27:38	午後 41 ページお願いします。
1:27:53	円形 8 号でちょっと教えて欲しいんですけど積算流量を S A 監視盤に表 示し記録するっていう記載なんですけど。
1:28:01	S A 監視、
1:28:04	盤でしか表示されないっていう理解でよろしいのでしょうか。
1:28:15	北海道電力の意味です。こちらの積算流量につきましては、
1:28:23	S A 監視盤で演算処理をして、右側の中央制御室の A M 設備監視創造 版。
1:28:31	の画面上に表示されます。
1:28:34	他の表示としては
1:28:40	緊急時対策所の画面にも表示されるものです。
1:28:47	19 S A 監視盤っていうのは何かほかのところだと、円座の話しか出てこ ないんですけどこの積算流量、
1:28:56	だけは、ここに表示機能はあるという。
1:29:04	北海道電力由井です。申し訳ございません。こちら誤記になっておりま して、この積算流量も、
1:29:14	S A 監視盤では表示はございません。ちょっと修正いたします。檜山代 沢了解しますと、あと、
1:29:21	比較表じゃない方の、
1:29:24	資料 1-4 の、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:27	58-14の11ページなんですけど、後から後五、六枚めくっていただいたところですかね。
1:29:43	18-14の11ページです。
1:29:59	設置場所のところで、図番が第1図って書いてるのと図1って書いてるのが、何か乱れてるのと、
1:30:08	あと後期になったんですけど下から4番目のサージタンク圧力ですねこれ。
1:30:14	建屋地上4階って書いてあって、11万9分の9なんですけど、9分の9で、
1:30:22	今後階の図になってて、そこに圧力サージタンク圧力っていうのを、
1:30:30	記載はあるんですけどこれ、地上4か5回ですかね。
1:30:52	合同電力の意味です。
1:30:55	記載が統一されておらず申し訳ございません。
1:31:01	33活力、AM用につきましては地上5階が正しくて、誤記ですので修正させていただきます。は形状からです。
1:31:12	そうですねこれ、もう1回全体確認いただいて、間違いがないかどうか、ちょっとお金をお願いします。私から以上です。
1:31:25	規制庁協本です。今のは、資料館の整合性が何か、
1:31:31	取れてないっていう。整合がとれてないってことだと思う。資料内の整合がとれてないってことだと思うんで。
1:31:38	ちゃんと。
1:31:39	ていただかないといけないっていうのとあと今のは、
1:31:43	設置場所なんですけど、他のやつって、TPって書いてませんでしたっけ、書いて書くんですけど。
1:32:07	こちらは、
1:32:09	北海道電力の意味です。翁長さんに、
1:32:13	習った習ってこのような、
1:32:15	記載として、
1:32:18	ございます。
1:33:24	北海道電力の石川でございます。ちょっと設置階層の表示の仕方について、条文間でちょっと揺らぎがあるんじゃないかというご指摘だと思うんですけどちょっとこちらの全体的に確認をしまして、統一できた考え方で記載するようにいたします。
1:34:39	規制庁秋本ですそれで資料1-5の比較表で、
1:34:48	取りまとめた資料の5ページですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:34:55	どう、
1:34:56	確認だけなんすけど、泊3号のところですか、大井のところと横を見ていただいてアニュラス水素濃度のところが、
1:35:08	空になってるのは、
1:35:11	何でしたっけこれ自主だからとかでしょ。
1:35:17	北海道連絡の意味です。大井さんではアニュラス水素濃度が常設で設置しております、それに対して泊3号機で3号炉では、
1:35:28	可搬型のSA設備として設けてございます。
1:35:34	なので、次のページの可搬型のところに、泊はアニュラス水素濃度間型という、相当する設備がございます。
1:35:45	規制庁アキモトですわかりましたであれですか或いは水素濃度可搬型っていうのは、可搬型は他社でもやっている考え方っていう理解でいいですか。
1:36:01	北海道電力の油井です。仮称でも実績ございまして例えば、伊方3号炉さん等が該当します。
1:36:44	労働電力の意味です。取りまとめた資料の3ページに、この層位を、そういう理由を記載させていただいてるんですけども。
1:36:57	③の、そういう理由③の中の、そういう理由の上から、
1:37:03	よ。
1:37:04	つ目のポツがその御説明になりまして、だから、こちらに伊方さんと同様というのを、
1:37:12	追記させていただきたいと考えますけども、
1:37:42	規制庁脇本ですわかりました取りまとめた資料の3を、に追記をしていただけだと思います。
1:38:02	規制庁秋本ですそれで取りまとめた資料6ページの、
1:38:08	記録装置の欄で、
1:38:11	2個目で可搬型温度計測装置、再循環ユニット入口温度出口温度、
1:38:20	ていうのんってるんですけど、
1:38:22	これは、
1:38:24	表示があるでよかったんでしたっけ。
1:38:29	他のやつだと何か括弧除いてたバージョンがあったりして、どっちが正解なんだろうと思っただけなんですけど。
1:38:38	電力古谷でございます。
1:38:40	あと技術的能力の1.7床、1.6の自然対流冷却の手順のところ(7)cの記載があったと思いますちょっと

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:51	申し訳ございません条文間で少し揺らぎがありますので、過般、
1:38:57	当可搬型温度計測装置の発行、
1:39:00	書きをしている方で統一しようと考えてございます申し訳ございません。
1:39:08	規制庁秋本ですわかりました。
1:39:11	これに限らず条文間の整合性は、
1:39:16	見ていただいて、
1:39:18	設備手順、有効性とかのですね、揺らぎがないようにしておいておいていただければと思います。
1:39:37	規制庁アキモトです58-5 ページで、
1:39:44	泊は、これは、計装喪失時に使用する設備、電源で、
1:39:54	すいません、58-4 ページでいいのかな。
1:39:58	女川って常設代替直流電源設備があるんですけど、
1:40:03	これーは、
1:40:08	説明がどこ。
1:40:10	あるんですけど。泊には、常設代替直流電源設備はいらないんでしょうか。
1:40:18	北海道電力の山本でございます。こちらの57条の範囲、なっております、女川さんの場合につきましては、所内常設蓄電式の直流電源設備、
1:40:31	まず非常用の蓄電池、こちらの方で24時間給電すると、それがなくなった場合に常設代替直流電源設備等、可搬代替小直流電源設備、
1:40:46	こちらを使って、
1:40:49	代替電源として給電すると。
1:40:51	というような手順を、設備と手順を整備してございます。一方、シャープ泊3号につきましては、
1:40:59	所内常設蓄電式直流電源設備としまして蓄電池の非常用等、後備蓄電池、
1:41:07	こちらを用いまして24時間、
1:41:09	直流を給電し続けます。
1:41:12	非常用の蓄電池が枯渇した後に後備蓄電池を投入しまして24時間を達成させるんですけども、
1:41:21	その後備蓄電池を投入した。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:24	すなわち非常用の蓄電池、こちらの方が枯渇した際にですね、可搬型の代替直流電源設備、こちらの方を準備いたしましてこちらから給電すると。
1:41:34	いう手順と設備を整備してございます。
1:41:37	ですので当社としましては
1:41:41	所内常設の蓄電式の直流電源設備で24時間給電するとともに、その後
1:41:48	可搬型の代替直流電源設備で給電できる手段を計画をしていると、整備していると。
1:41:53	ということでございます。以上でございます。
1:43:12	規制庁脇本です。カリーました。
1:44:03	規制庁アキモトです58-9ページで、下の赤字のところですけど使用済み燃料ピット水可搬型、
1:44:13	から始まる場所なんですけど、これは、
1:44:16	可搬型のものはもうこれで全部っていう理解でいいですか。
1:44:31	北海道電力の由井です。こちらの記載が考えた設備、網羅してございます。
1:45:41	一応、木本です58-20ページ。
1:45:49	真ん中ぐらいの可搬型温度計測装置括弧でさっきのやつんでは、原子炉補助建屋内及び緊急時対策所内に保管しているところなんですけど、
1:46:02	これは、
1:46:04	計測装置記録系。
1:46:08	緊急所にあるよとかそういうことでよかったですでしょう。
1:46:16	北海道電力の意味です。こちらは可搬型の設備でして、
1:46:24	必要数と、予備と準備しておりました
1:46:30	補助、原子炉補助建屋には、
1:46:35	に、
1:46:36	保管しているものと、あと、
1:46:38	予備用緊急時対策所にも保管しているという、
1:46:43	ます。
1:47:11	規制庁アキモトです58-23ページで、
1:47:16	ポツが並んでて下から三つ目でコア注入ポンプ電動機補機冷却水流量なんですけど、これちょっと上の、
1:47:26	1個上のやつか及び入ってたんで、あれ、及びって、
1:47:30	何なんだろうなって思ったんですけど、上の四つ目、下から四つ目の及びっていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:37	主査、三つ目のところは、何か、
1:47:41	名称は、何か違うものっていう、違うものっていうか、及びはここ入らなくていいってことなんですね。
1:47:48	北海道電力の意味です。こちら設備名称をそのまま記載してございまして、
1:47:56	上は及びが入った名称で、下の
1:47:59	電動機の方は、及びがない名称となっております。
1:48:10	北海道電力古谷でございますがちょっと少し補足いたしますと、下から四つ目のものはポンプと、油冷却器に通水する。
1:48:21	冷却水の流量計で、下は電動機に、
1:48:25	通水する流量計でございます。
1:48:45	規制庁アキモトです 58-31 ページです。
1:48:51	一番下のところなんすけど格納容器圧力広域あ、失礼、大飯のなんで見てたら、計測範囲が、
1:48:59	-50 で負圧のところもはかれるようになってるみたいだったんですけど、これは別に負圧領域まで、
1:49:08	泊はわかんなくていいよっていうことでいいんですか。
1:49:31	齋藤電力の吉田と申します。
1:49:34	基本的にですね、我々のディファレントというかスリループのプラントはみんな 0 から 1MP a。
1:49:42	ちょっと PCCV だからかと思うんでちょっとそこは、回答は持ち合わせておりません申しわけありません。以上です。
1:50:03	規制庁秋本です。わかりました。
1:50:07	藤。
1:50:09	そうっすね。だからそういう意味ではさっきのところもう
1:50:14	一応設備の添、次の 58-32 ページで説明をそ総意により継続案が異なるっていうことは書いていただいているんですけど、別に
1:50:27	どっかと一緒ですよっていうことが書けるんだったら、
1:50:31	それを書いといていただければ、
1:50:35	見ていただければと思います。
1:50:44	電力江見です。承知いたしました。
1:50:47	同様の先行プラント、記載させていただきます。
1:50:53	規制庁アキモトでそれで 58-30 はちいなんですけど、
1:51:02	泊の欄の (2) の方に水素濃度計測ユニットで個数のところが赤字で 1 曜日 1 で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:13	常設で継続しており個数も異なる。
1:51:19	ていうのは書いていただいているんですけど、
1:51:25	あとこれはだから一応B1の考え方ワー
1:51:30	の、
1:51:33	数先行であるっていう理解でいいですよ。
1:51:49	北海道電力、江見です。
1:51:52	間形の
1:51:55	を採用するプラン。
1:51:57	とでは
1:51:59	個数1及び1で同様でございます、こちらも同様のプラントを記載させていただきますと思います。
1:52:18	規制庁沖本です添付の58-11で、さっきも言ったんですけど、取り付け、
1:52:28	取り付け箇所で、もしかしたらあるのが、
1:52:32	取り付け箇所も、
1:52:37	なあとちょっと思ったんですけどちょっとそこ、取り付け箇所もちょっと確認をしてもらおう。
1:52:43	れればと思います。
1:52:49	電力の意味です。こちらの
1:52:53	高さの記載についても、
1:52:55	確認整理の上
1:52:58	修正したいと思います。
1:53:06	北海道電力由井です確認。
1:53:09	必要に応じ、修正したいと思います。以上です。
1:53:24	規制庁片桐窃盗。
1:53:26	今の資料1資料1の5-58-21ページお願いします。
1:53:39	一番上でデータ表示端末を、緊急時対策所内に設置している記載なんですけど、これって、
1:53:47	もうトン。
1:53:49	具体的には指揮所の方にあると思うんですけど指揮所待機所書かないみたいなので何か、通信連絡設備側でも何か、
1:53:57	あったような気がするんですけどこの辺って、
1:53:59	どういうふうに整理されたんでしょうか。
1:55:20	北海道電力読みです。61条62条の記載方針。
1:55:26	確認の上、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:30	必要に応じ、反映したいと思います。
1:55:34	形状模擬議さ。了解しました。私から以上です。
1:55:41	規制庁秋本です資料1-3の本体側というか、比較じゃない方なんですけど、
1:55:50	の本体じゃないすみません、一番最後のページ。
1:55:55	系統概要図っていうのが載ってて、
1:56:00	これすごい細かい話なんですけど、
1:56:06	上の無線アンテナっていうのが繋がってるのと繋がってないのがあるなって思った。
1:56:12	んですけど何か収支なんかあるんですしたっけ。
1:56:42	すみません、北海道電本店から発言よろしいでしょうか。
1:56:48	どうぞ。
1:56:52	すみません北海道電力の笹木と申します。今ご指摘いただいた点につきましては資料1-3の最終ページにあります。58-68。
1:57:02	図2.15の5番の図面に対しての指摘だと受けとめました。
1:57:07	ただいまのご指摘の無線アンテナの表記入れにつきましては1005基ですので、統一させていただきます。申し訳ございません。以上になります。
1:57:17	規制庁秋元です。なかなかちょっと難しいなと思いつつ、
1:57:22	他のなんですよ、通信機器とか真ん中にあるやつなんかもちろん、繋がってないっていうか、浮いてるっていうのが
1:57:29	別にいいんですけど、何か、
1:57:33	それもしょうがないんですけど、はい。で、
1:57:36	ちょっと中身の話をすると
1:57:38	管理事務所っていうのが真ん中にあるじゃないですか。これは、ここは、
1:57:45	原子炉補助建屋ないにあっていいんですか。
1:57:57	北海道本店から先ご発言よろしいでしょうか。
1:58:05	はい。笹木さんお願いします。
1:58:10	北海道仁木笹木です
1:58:14	管理事務所につきましては3号炉原子炉補助建屋内に設置している建物ではなくてですねすみません、表のレイアウト上そのようにちょっと表現させていただいたんですけども、
1:58:27	設置場所としては、補助建屋内のものではない。
1:58:31	というものになっております。以上になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:54	規制庁秋本です。管理事務所自体はS sでもつっていう理解でよかったんでしょうけど、
2:00:34	ガイド電力江見です。この管理事務所の耐震性については、各、
2:00:41	ご回答いたします。
2:01:24	規制庁アキモトでそれで資料1-6で、
2:01:29	補足説明資料の比較表。
2:01:32	もう今回出ていると思うんですけど、
2:01:39	で、補-58-2-2ですね。
2:01:44	2-2を今見てるんですけど、
2:01:48	取り、
2:01:49	取り付け箇所のところ、
2:01:52	使用済み燃料ピット。
2:01:54	と監視カメラなんですけど、
2:01:58	これが燃料取扱棟または減少補助建屋地地上4階ってなってて、
2:02:07	下行くと、過去なんか見ると、現状立てや地上4階及び地上4階に保管、
2:02:17	てなって、
2:02:19	最初の疑問は及び以下またはってというのが、
2:02:24	本
2:02:25	問題。
2:02:26	けどで括弧中保管場所なんか限っていえるってということなんですかね。
2:02:32	ちょっと二つ質問もまざっちゃったんですけど。
2:02:35	回答していただければと思います。
2:02:49	回答電力吉田と申します。カメラそのものは、燃料取扱棟の中にあります。空冷装置は、壁抜けた反対側でしてそちらが原子炉補助建屋になると。
2:03:01	ということで、それを保管場所またはで繋いだのちょっと、
2:03:05	今読み直しますとおよんでもそれを予備と書くのかというのもちょっと微妙なところでして、悩んだ挙げ句、またはになったのかなと。
2:03:13	いうところ、で、ほぼ、その下の括弧の中の保管場所につきましては、この空冷装置をですね、
2:03:19	補助建屋と原子炉だったと、2ヶ所、
2:03:23	少し場所を分けて保管するように考えてますんでさらにこのような記載になっているという状況になっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:42	規制庁秋本ですわかりました。じゃあ、次の方の 58-2-3 ページもうまあ似たような観点なんですけど、
2:04:51	使用済み燃料ピット可搬型エリアモニターっていうのが 1 個目にあつて、
2:04:56	地上 4 階、地上 4 階、または屋外
2:05:02	三つ。
2:05:05	捨て取り付けるよっていう感じでよかったですでしょうか。
2:05:11	1 台ずつだからってことですか。
2:05:14	こちらは 54 条のほうで別途説明があるかと思うんですが、設置場所が 3、3 種類候補を作ってます、
2:05:21	なるべく近めのところ、線量上がってきた時でもはかれるはかりやすいという、遠いところとか、動きやすい場所を選定
2:05:30	選定してますんでまたはで三つつないでいるということなってますで過去の中は多分、
2:05:35	交換場所ですね保管場所はこの 2 ヶ所に保管してますということになります。
2:05:56	規制庁秋本です。徒歩の 58-5-85 ページです。
2:06:04	5-85 ページで、
2:06:07	継続範囲のところオンオフ。
2:06:11	て記載があるんですけど、こういう先行例ってあるんですか。
2:06:18	今後降って、
2:06:53	北海道電力江見です。
2:06:56	こちらの
2:06:59	推計の計測範囲、
2:07:02	校風がですね、大井さんでも、
2:07:06	本文の
2:07:08	表では、計測範囲を大府で記載しております、
2:07:15	従いまして
2:07:17	このページ、補足説明資料では、泊は御分を T P P も記載しているという、
2:07:23	形になってございます。
2:07:40	北海道電力江見です。比較表の
2:07:46	58-42 ページ。
2:07:50	ご覧いただきたいんですけども、
2:07:56	資料 1-5 の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:07:59	58-42 ページになります。
2:08:03	こちらの大井さんの欄の表では、
2:08:08	原子炉下部キャビティ水位、
2:08:11	等の
2:08:13	範囲が大府となっております。
2:08:39	規制庁アキモトですわかりました。徒歩 55 は、58-5、5-95 ページです。
2:08:48	この 95 ページは、使用済み燃料ピット水があるんですけど、
2:08:55	ここの計測上限とか継続下限で、
2:09:01	枠囲みennaってるんですけど、これってもう出てません。
2:09:38	北海道電力江見です。こちら他の資料でも、マスクングしていない箇所でございます。ちょっと昔マスクング過ぎた
2:09:47	流れのままとなっていたんですけどもマスクング
2:09:51	取りたいと思います。
2:13:01	規制庁秋本です。マスクング箇所の確認をしますので少々お待ちください。
2:15:41	規制庁秋本です。それでは、補-58 の 12-8 ページです。
2:15:49	12-8 ページは、ところっす。補佐のところなんですけど原子炉下部キャビティ水の方で、
2:15:58	誤差で、
2:16:01	プラス 60 でマイナス側は 0。
2:16:05	なんですけど、
2:16:08	マイナス側 0 なんですね。
2:16:13	これ、正しいっていうことなんですか。何たまたま
2:16:18	女川がマイナス側も書いてんだと思っただけなんすけども、ちょっと景気の違いもあるのかもしれないんですけど、マイナス側は特段振れん。
2:16:37	横井吉田でございますこちらの、
2:16:40	キャビティ水を設置した時の設計思想として、絶対に <span style="background-color: black; color: black;">■■■■</span> メートル以上、水があること。
2:16:50	失礼しました。
2:16:54	E F
2:16:55	はい。
2:16:55	基準水位であれば、
2:16:58	はい。
2:17:05	純粹上水水があることかな、検知したときには必ず、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:10	基準水位異常であること。
2:17:12	ということを考えて、このあたり
2:17:16	マイナスがゼロという設定をしております。で、
2:17:20	同じ話でもう一つ下の方にありますC v
2:17:23	C V水位計、こちらの方は、この水、
2:17:27	検知したときには、この水に届いていないようにすると、上限値なもん ですから、ここまできて、
2:17:33	なった時点でもこの値を超えてき設定値を超えてもらったら困るという 発想がありますんで、逆にそれ逆側の誤差の振り方をしているというよ うな設計思想となっております。
2:21:42	規制庁アキモトでそれではじゃあ58条は以上ですが、あとはあれです かねパーフォは別に特段説明はなしでも大丈夫ですか。
2:21:54	面白い。
2:21:55	ことがあれば、
2:21:57	北海道電力の意味です。
2:22:02	パワーポイント資料の変更点について軽微な変更ですけども簡単に後ご 説明いたします。
2:22:10	資料1-10
2:22:13	になります。
2:22:16	こちらの、
2:22:18	8、
2:22:19	8ページ。
2:22:24	こちらの前回ご指摘いただきまして、
2:22:31	は、表の中のですね、把握能力の記載にもともと一次系、最高使用温度 っていう記載だったのを、また条文との
2:22:42	記載を統一を図りまして一次冷却系にしてございます。
2:22:47	あと、
2:22:49	12ページ。
2:22:51	13ページ等で
2:22:54	記載元のまとめ資料のページ、
2:22:58	記載していますけども修正に伴って、ページがずれますのでこちらも修 正しているものになります。
2:23:05	以上です。
2:23:24	規制庁アキモトですわかりました。うん。
2:23:28	いいですか。よろしいですか。はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:30	Webの方も含めて、何かありますでしょうか。
2:23:36	計装関係、よろしいでしょうか。じゃあ、58条と1.15ですかね、は終わりにしたいと思いますので。
2:23:46	5分休憩して、次の2、再開したいと思います。5分休憩します。
2:24:02	規制庁アキモトでそれではヒアリング再開します。続いては1.0の共通事項ということで、節事業者から説明をお願いします。
2:24:14	はい北海道電力の藤田です。それでは、技術的能力の1.0についてご説明させていただきます。
2:24:21	ちょっと前半後半に分けて、まず前半の方ですけども、
2:24:25	前回2月11日に実施いただきました、本文と、
2:24:30	あと有毒ガス関係の添付1.0.10、こちらの2回目になりますのでこちらをまず、コメント回答を中心にさせていただきたいと思います。二つ目が、
2:24:40	今回新たに提出させていただきます。
2:24:44	本文について第1第2表それから添付資料の1.071.0、14、16と、
2:24:50	こちら初めて提出させていただきますのでこちらの1回目のヒアリングを実施させていただきたいというふうに思います。
2:24:59	それでは説明の方を古谷からさせていただきます。
2:25:04	北海道電力古谷でございます。
2:25:07	説明の進め方については、2の資料の2-3のコメント回答と、
2:25:14	資料2-2の比較表を、両方皆見ながらご説明したいなというふうに思いますがよろしいでしょうか。
2:25:26	はい。まず資料2-3の方ナンバー1番目のコメントでございます。
2:25:33	こちらは給油活動を行う要員を参集要員で確保するということに、アクセスルートのヒアリングのところでコメントをいただいたものですが、
2:25:47	こちらは1.0の方でも同様のコメントをいただいておりますましてナンバー11番で後程ご説明したいと思います。
2:25:57	続いてナンバー2番のコメントでございます。
2:26:00	島根2号の本文の記載で、降下火砕物の前兆事象を確認した時の対応について、
2:26:10	検討して説明することということでコメントをいただいております。
2:26:15	資料2-2の24ページをお願いいたします。
2:26:27	24ページの真ん中あたりに、黄色ハッチングで記載してございます。航空火砕物の降灰が想定された場合の対応について、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:38	島根 2 号の 3 を真ん中に入りまして、同様の記載を反映してご います。
2:26:44	No.2 は以上になります。
2:26:50	続きましてコメン等の方の新野さんの 3 番目になります。
2:26:59	前兆事象を確認した時点で泊で対応すべき自然現象、先行事例を踏ま えて検討して説明することというコメントでございます。
2:27:09	あと少し概要回答概要をご説明いたしますけれども、
2:27:13	技術的能力の審査基準の一線 0 への適合としては前兆事象として把握 できるか、それから重大事故等を引き起こす可能性があるかを考慮して、
2:27:25	体制及び手順を整備するという方針でございます。
2:27:30	自然事象の方の確認については地震津波は当然ですけれども、D 六条の 方の想定される自然現象、津地震津波以外のネット事象と、
2:27:45	それから P R A の方で、有効性評価の事故シーケンスグループの選定に 際して、考慮する地震津波以外の外部事象こちらを確認いたしまして、
2:27:58	さらにその女川との比較をしてございますので女川の、との比較表。
2:28:04	P R A D B 6 条を確認いたしました。その上で、
2:28:11	泊としての特徴としてその下の次の段落になりますが、
2:28:19	デービー 6 条及び P R A で想定する自然現象のうち女川 2 号炉との相違 は、地すべりということで、
2:28:27	現状実名については、泊 3 号炉の当社空中写真判読と交換の地すべりに 関する知見等を踏まえて再評価を行う、行うため、追示というふうにし てございますので、
2:28:41	こちらを反映してございます。
2:28:44	比較表の、24 ページ先ほどと同じページですけれども、
2:28:49	J I S ベリーが想定される場合にはというところで、
2:28:54	降下火砕物の下に追記をして、こちらは評価が出次第記載を的反映して 参ります。
2:29:04	すいませんまた今年度回答に戻っていただきまして、
2:29:08	降下火砕物については先ほどの説明と同様ですので割愛します。それか ら島根 2 号炉さんの方で土石流の記載をしてございます。
2:29:19	その点については泊 3 号炉の D B 6 条まとめ資料において、
2:29:24	土石流上地整備地すべりの評価において、
2:29:28	土石流危険区域等を考慮しているために術による影響に包絡されると。
2:29:34	いうふうにしてございますので、
2:29:37	今回地すべりを

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:39	辻ですけれども、追加したことで、土石流についても考慮されているというところですか。六条としては、地すべりで土石流を想定する自然現象から除外しているという整理になってございます。
2:29:55	ナンバー3は以上になります。
2:29:58	次、問ナンバー4です。
2:30:03	地下水排水設備について、設備の位置付け、それから復旧に必要な資機材の保管確保保管場所、
2:30:12	そういうルール of 充実というところでコメントをいただいております50ページをお願いいたします。
2:30:24	50ページですけれども、上の方の女川さんの
2:30:30	可搬型設備予備品を確保するところの横尾の方のそういう理由を記載、充実してございます。
2:30:39	小野沢さんについては、主要建屋、敷地は広範囲の施設等に生じる液状化影響及び用圧力を、影響を確実に排除する設計方針と、
2:30:50	するため、静的設備である用水道応用を含むすべての構成要素、
2:30:56	多重化するなど、地下水位低下設備に、安全重要度クラス1相当の設計を適用するというところで、
2:31:03	可搬型設備と予備品を確保してございます。
2:31:07	泊については、主要建屋に限り、地下水排水設備に用圧力影響の排除を期待しておりますので、島根さんと同様でございますけれども、
2:31:17	万一の地下水、排水設備の機能が喪失した際に、
2:31:23	建屋の設計条件を逸脱するまでの時間が約3時間と短いことも踏まえまして、さらなる信頼性向上を目的に可搬型水中ポンプを資機材として確保するという考えでございます。
2:31:36	した2、泊の欄ですけれども、資機材を確保することについて
2:31:44	記載をしてございます。
2:31:47	次ページ10-51ページに保管場所について記載をしてございます。
2:31:56	なお、地下水排水設備の資機材は、地震による周辺斜面の崩壊敷地下斜面の滑り津波による浸水等の外部事象の影響を受けにくい場所に地下水排水設備との位置的分散を考慮した場所に保管すると。
2:32:11	ということで保管場所についての説明を追記してございます。
2:32:15	そのページの右下の方に、江藤女川さんがアクセスルート2に力て、地価低下、諏訪地下水位低下設備の期待してございますので、
2:32:28	右側の層位理由も少し充実してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:33	泊については先ほど申した通り主要建屋に限り期待しているということでアクセスルートに影響を及ぼさない、島根さんと同様ということで追記をしています。
2:32:46	次が、コメントの5番になります。
2:32:54	班構成について、設置先行の設置許可と、実態と防災業務計画との関係を調べた上で適切に
2:33:04	検討して説明することということでコメントをいただいております。
2:33:08	比較表の飛んで79ページをお願いいたします。
2:33:21	79ページの真ん中あたりに括弧Bというのがありまして、
2:33:26	緑字で復旧班というふうに記載してございます。
2:33:31	ここは江藤、電気工作班、あと機械工作班と保健所9班を統合いたしまして、復旧班ということで班構成を変更してございます。
2:33:44	これによりまして発電所対策本部長の管理班数を縮小して、本部長の指揮命令能力向上を図るということで、変更してございます。
2:33:56	コメントの次の6番になります。
2:34:01	あと実施組織における消火活動の一部を担う運転班の記載について検討を行うことというご指摘でございます。
2:34:09	比較表は同じページになりまして、復旧班の上のところに、
2:34:16	可搬型大容量海水報送水、海水ポンプ車を用いた消火活動を行う運転班ということで追記をしております。こちらについては航空機燃料火災の泡消火を運転班で行いますので、
2:34:31	こちらを追記してございます。
2:34:34	次はコメント7番になります。
2:34:39	あと7番は他班の役務についてということで先行審査実績の方で汚染拡大防止措置と記載しているけれども、まとまりが記載足りないというところでこの辺りも見直ししてございます81ページをお願いいたします。
2:35:01	あと81ページの上のほうに括弧がありまして、こちら側の他班の記載ですけれども、
2:35:11	今回
2:35:13	先行プラントの設置許可と防災業務計画の方確認いたしまして必ずしも同一の記載にはなっていないという状況を確認いたしまして、
2:35:25	設置許可として必要な規制をすべきというふうに当社として判断したところでございまして、
2:35:32	先行審査実績であります女川さんの記載を参考に、
2:35:37	全般的に班の役割については見直しをしてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:44	へえ。
2:35:46	コメントナンバー7番以上でございます。
2:35:50	コメントNo.の8番ですけれどもこちらの同じページのですねその下の段落になりますけれども、
2:35:59	衛藤大井さんの総務班というところで発電所対策本部の設営運営というふうに記載していたんですけれども、泊については
2:36:11	説明がないということでこちらの全般的に見直しております、
2:36:17	2行目に書いてます、発電所対策本部の運営支援という言葉の中で、
2:36:24	設営と運営を読むということで、女川さんを参考に記載を見直してございます。
2:36:32	次が、コメントNo.の9番になりまして資料が、1-0の中の添付資料の方になります。
2:36:53	まとめ資料でいきますと7ページになります。
2:36:59	と1-0-10-7ページをお願いいたします。
2:37:05	下の方に赤字でSFP12号炉のSFピットの温度評価の温度ですね。
2:37:13	こちらが100度になっているというところで先行審査実績を確認いたしました。
2:37:20	結果として島根2号炉、コメント回答にも書きましたが、島根2号炉さんも100度になっておまして、
2:37:29	当社としてはSFPと補給、補給対応を必要とする期間の温度は封筒による推定が顕著になるとなる100度到達時間を示すという考えで、
2:37:42	100度のままとさせていただきまして、
2:37:45	年100度は島根と同様ということで、そういう理由欄に追記をいたしました。
2:37:52	とか、コメント回答の方になお書きで書きましたが、なお同条件、衛藤崩壊熱同条件で評価したところ、65度到達するまでに約2日ということで、
2:38:05	12時間後の参集要員で、12号炉の対応しようと考えておるんですけれども、
2:38:11	2日間、65度までは2日間なので十分対応可能かなというふうに考えてございます。
2:38:19	当庫次コメントNo.の10番になります。
2:38:23	こちらが技術班の役務ですので先ほどと説明同様ですので、他社と先行、合わせておりますページ数は、
2:38:36	11ページになります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:38:44	1-0の11ページの一番上の方が技術班、それ以降すべて
2:38:50	女川さんを参考に見直しをかけてございます。
2:38:55	次が、コメントナンバーの11番になります。こちらが給油活動を行う要員を、
2:39:03	参集要員で確認、確保することについての
2:39:08	コメントということでございます。
2:39:11	コメン等の概要を少し説明しますが、
2:39:16	有効性評価にて期待する代替非常用発電機の補燃料補給活動二名、参集要員で確保することとしておりましたけれども、
2:39:25	発電所構外からの参集については外部要因等の不確実性を想定することも必要と考えまして、
2:39:33	より確実な対応を行うため、発電所内に当該要員二名を常時確保する方針として方針点、体制を変更してございます。
2:39:42	17ページをお願いいたします。
2:39:48	あと17ページの上の辺りに、これ当発電所内に常駐している他、要因をまとめているようなんですけれども、
2:39:58	災害対策要員を11名ということで9名から11名に変更、二名増員してございます。
2:40:06	その下の行に、燃料補給に関わる要員ということで燃料補給の記載を追記しまして、二名衛藤確保ということで記載してございます。
2:40:18	体制図の方は、1-0の中の35ページにはございます。
2:40:31	小さくて少し見づらいかもかもしれませんが、右側の四角の塊の上から、
2:40:38	四つめへと災害対策要員、※5と書いてあるもの、これが22人ということで追記しております。今後は下の方に注記をしておりまして、燃料補給活動を行うということで、
2:40:54	ここで二名を確保しております。
2:41:00	No.11については以上でございます。次が、ナンバー12番になります。
2:41:07	比較表の30ページをお願いいたします。
2:41:23	はい。30ページの(3)番の中期的な体制のところ、
2:41:28	前はメーカーさんと及び関連会社ということで記載してございました。
2:41:36	状況確認しまして衛藤。
2:41:38	関連会社については、三菱重工さんと統合されておりましたので、関連会社は記載を削除してございます。
2:41:51	12番については以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:41:56	次はコメントNo.の 13 番になります。1 号炉主任を体制図にきちんと記載する必要があるか検討し説明することということで 33 ページをお願いいたします。
2:42:15	33 ページに体制図 3 主要要員召集後の体制図がありまして一番上の方です。
2:42:22	複数号炉同時被災も考慮しまして 12 号炉の炉主任、原子炉主任技術者も必要ということで体制図に追加してございます。
2:42:33	次がコメントナンバーの 14 番になります。
2:42:38	比較表 38 ページをお願いいたします。
2:42:47	体制発令後の要員召集の連絡の流れですけれども、
2:42:52	真ん中あたりに発電所対策本部用本部員ですね、こちらが必要ないかという、ご確認がありましてこちらは必要ということで、
2:43:02	女川実績に合わせて記載をしてございます。
2:43:06	それから、その右下の班長から各班員に直接連絡するような形になってございましたけれども、
2:43:15	こちらも確認しまして副班長が、当社も言いまして副班長経由で連絡いたしますので、反映してございます。最終的に記載は女川さんと同様になってございます。
2:43:29	最後、コメントの 16 番になります。
2:43:38	鉄塔倒壊事例として資金でおきますと当社の事例を入れる必要があるかどうか検討し、説明することということで確認いただいております。
2:43:51	回答概要を説明しますが、
2:43:54	とうとう鉄塔倒壊時は迂回することで、アクセスすることと考えてございまして、このまとめ資料すいません 125 ページになります。申し訳ございません。
2:44:12	1-0 の中の 125 ページです。
2:44:22	図 3 の方にはですね事例はいずれも折れ曲がる形で倒壊しておりますのでその鉄塔の高さの範囲を避けるように、
2:44:33	迂回するという設定しておりまして、アクセスが可能ということイメージしていただけるように資料を作成してございました。
2:44:41	これらの基準については強風地震、それから津波のとする東海事例でありまして、今回大雪による倒壊事例ということですのでこちらを、
2:44:52	令和 4 年 12 月 23 日に当社の N E D O 行きによる倒壊事例を追加いたしました。
2:45:00	コメント回答については以上でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:11	規制庁アキモトでそれでは確認に入ります。まずは回答リストで、
2:45:21	と。
2:45:23	ですね、11、一応 11 番の 5、5 ページの 11 番は、有効性評価とかも、これを全部反映、まぜ物が該当する箇所を反映するっていう理解でいいですかね。
2:45:37	北海道電力古谷でございます。その認識で問題ございません。
2:45:43	規制庁秋本ですわかりました。12 ページ、12 番のところは関連会社の記載は削除したなんですけど、
2:45:54	さっきの何ページでしたっけさん。
2:46:21	規制庁アキモトです。衛藤。
2:46:24	多分これ見てて、プラントメーカーからは削除して、等に入るのかなとかちょっと思ったんですけどそういう関係ではない感じですか。
2:46:38	北海道電力古谷でございます。
2:46:41	関連会社については、三菱重工さんの組織の中に統合されておりますので、基本的には三菱重工業株式会社の中に、
2:46:54	これまであった関連会社からも統合されている形ということで、プラントメーカーとしては重工さんと三菱電機さんと記載してございますがその他
2:47:06	協力会社さんについてはもう
2:47:10	あと、
2:47:11	記載。
2:47:12	というところで記載してございます。
2:48:00	規制庁秋本です。で、コメント回答は以上で、比較表でちょっと何点か確認したいところがあるんですけど、
2:48:12	2.0-35 ページで、
2:48:44	成長秋本哲夫婦
2:48:47	で、通史通報連絡責任者及び燃料つつう
2:48:55	一緒。
2:48:56	並びに火災発生時の消火活動の指揮を行う消火責任者っていうところが黄色になってるんですけど、これは何。
2:49:05	明確化とかで何か追記した感じですか。
2:49:10	北海道電力古谷でございます。すいませんコメント回答した後に自主的に修正した部分をご説明したいなと思ってたんですけども、今回ですね、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:49:21	もともと通報連絡者2名ということで、もともと確保していたんですけども、
2:49:28	そのうち1名通報連絡責任者ということで責任者として配置しまして、
2:49:37	あと全体、防災、副防災、管理者である全体指揮者の負担軽減を兼ねましてですね。
2:49:48	まず通報連絡者を1名、通報連絡者二名のうち1名を責任者にいたしました。それから
2:49:57	小力一初期消火の要員を指揮する、消火責任者を1名今回、初動の要員として増員いたしました、
2:50:10	こちらも
2:50:11	衛藤、全体指揮者の
2:50:15	負担を減らすということと、他社さんの
2:50:21	常駐要員の状況も見まして、消火責任者は別途必要だろうということで、自主的に体制強化をしております。
2:50:29	最終的に常駐として本部で衛藤活動する災害対策本部要員4名ということで、1名増員ということでございます。以上です。
2:50:43	規制庁秋本ですわかりました。そしたらじゃあ、
2:50:46	何ですかね、自主的に直したところを、
2:50:49	概要、さらっと説明していただければ
2:50:53	了解いたしました。
2:50:55	北海道電力古谷でございます。自主的に変更したところ取りまとめた資料の1ページをお願いいたします。
2:51:09	〇ポツの2ポツ目ですね消火活動の指揮を行う草加責任者、こちらを追加したことを記載。
2:51:20	としております。あと、燃料補給と復旧班の方は先ほどと同様でございます。
2:51:29	それからですね。
2:51:31	市町村お待ちください。
2:51:39	比較表の1-0-84ページをお願いいたします。
2:51:52	84ページの真ん中あたりにですね12時間をめどに参集要員を確保するというところの数、要員数なんですけども、
2:52:04	前は27名でしたけれども今回51名に増員しまして、
2:52:11	あと参集後の要員数としては女川さんと尾野同様の98名ということで体制を強化しております。あと体制図は先ほどお示した、1-0の中のですね、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:52:26	33 ページになります。
2:52:34	1-0-33 ページで右下のちょっと小さいんですけども合計の人数ということで、
2:52:42	98 名というふうに記載してございまして女川さんと同様の要員数ということで記載をしております。
2:52:54	続きまして、
2:53:05	あと自主的な体数体制の方で自主的に変更したところの主なところは以上になります。
2:53:24	はい。
2:53:31	規制庁アキモトですわかりました。0-35 ページで、
2:53:38	さっきの説明があったところの次の、
2:53:42	フォローで、
2:53:46	と、
2:53:50	なお、3号炉の原子炉容器燃料が装荷されている場合っていうのが、
2:53:56	言葉ですけど、女川の場合原子炉運転中っていう言葉を使っているけど、
2:54:03	容器に燃料が装荷されてる場合が、
2:54:06	泊の場合は正しいっていうか、そっちの方で書き、
2:54:11	行った方がいい。
2:54:13	いいっていうことなんですか。
2:54:15	北海道電力古谷でございます。
2:54:18	衛藤。
2:54:20	ここのなお書きのところでス4行目になるんですけども、
2:54:25	3号炉の減少容器に燃料が装荷されていない場合、これ記載、表現としては大井さん、記載表現を参考にさせていただいてるんですけども、
2:54:39	使用済み燃料ピットだけにですね燃料が入っている状態を表現しております。
2:54:46	この時に3号炉の運転員を、6名から5名それから災害対策要員確保支援を15名から14名に変えます。
2:54:57	あと女川さんの運転中、運転停止中というのは、
2:55:03	低温停止だったと記憶してるんですけどもまだ原子炉の方の中に燃料がありまして、
2:55:11	我々我々よりももっと前段の段階で運転員の人数を減らしている。
2:55:20	状況でこれは多分有効性評価でも評価されていると思いますけれども、只野田井と我々、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:27	は、
2:55:28	使用済み燃料ピット原子炉から燃料が取り出されて、使用済み燃料ピットだけに保管されている時に要員数を変更しますので、
2:55:39	ちょっとこの表現で正しいというふうに考えております。
2:55:44	規制庁秋本ですわかりました。
2:55:47	PWRはこういう考え、PとBとの差っていう感じですか。
2:55:54	北海道電力古谷でございます。
2:55:58	ほか、
2:56:00	他社さんの中でPWRの中でもですね、停止中で要員数をへ変える。
2:56:07	停止中で変えてさらに使用済み燃料ピットに燃料を抜いたら変えるというようなプラントもございましてちょっと
2:56:15	プラントバイプラントだと思っておりますけれども、
2:56:18	使用済み燃料ピットに燃料を、
2:56:23	原子炉容器から燃料を取り出して要員数を変えるという点では、伊方さんが同様でしたので、
2:56:31	ここの辺りはですね所長の杉さん。
2:56:47	北海道電力古谷でございます。伊方さんと同様と考えておりましたがそういう理由に記載が足りない、なくて大変申し訳ございません。
2:57:54	長秋本です。1.024 ページですね、ちょっと戻りますけど 24 ページで、
2:58:00	地すべりが想定される場合にはってまとめ資料書いてあるんですけど、
2:58:06	これはあれなんですかね今の見込み的には。
2:58:09	入る可能性がある感じなんですか。
2:58:20	北海道電力古谷でございます。ちょっと現状答えれる場を
2:58:26	今日はちょっと持ち合わせてございせんが、
2:58:31	6 条の方の評価をもってここは反映したいなと思います。
2:58:38	あと地すべりが想定される場合にはと記載したのが一応出だしだけ書いてですね。
2:58:44	その後ここに記載できるように、松井字は辻なんですけれども、出だしだけ少し記載させていただいたという状況でございます。
3:00:22	規制庁沖本ですねは、1.0 の 81 ペイジーで、
3:00:33	従ったのが 1 個目の上の方の、及び海洋への放射性物質拡散抑制、
3:00:40	対応を行うっていうのは
3:00:43	文化班でやられるっていうのは、そうなのかなとは思いつつ、
3:00:49	先行って、そこまで書いてるんですけど。
3:00:56	工藤電力古谷でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:00:58	具体的な手順シルトフェンスになるんですけども、シルトフェンスは先行他社でいきますと、
3:01:08	補修班であったり復旧班であったりということで、可搬型重大事故等対象設備の作業というそういうくくりで、
3:01:18	記載されますと具体的に言うと 79 ページ。
3:01:25	もう女川さんの記載でいきますと、
3:01:28	6 班、括弧 B の可搬型重大事故等対処設備の準備と搜索この中で含まれてしまうという状況でございます。
3:01:38	泊の場合は他班で実施いたしますので、重大事故等対象設備の手順ということで、具体的に記載させていただきます。
3:03:10	規制庁秋本ですわかりました。
3:03:14	1.079 ページ、さっきご説明いただいた、
3:03:20	ところではあるのかもしれないですけど、可搬型大容量海水ポンプ車を用いた消火活動、
3:03:27	なんですけど、消火活動って、これだけでよかった。
3:04:00	北海道電力古谷でございます。1-0-81 ページをお願いいたします。
3:04:10	こちらに、この事務局、
3:04:14	のところに火災発生時の初期消火活動を行う消火要員を有する事務局ということで、
3:04:22	こちらで消火活動、
3:04:24	そういうことを、ここで記載してございます。以上です。
3:04:39	規制庁秋本です。何となくわかったんですけど、可搬型大容量海水ポンプ車を用いた消火活動は、初期消火ではないっていうことでよかったですか。
3:04:51	北海道電力古谷でございます。そのご認識で問題ございません。放水砲と、大容量ポンプで阿波消火航空機火災の泡消火をすると。
3:05:03	いう手順でございます以上です。
3:05:08	規制庁秋元です。で、今 81 ページを見ると、
3:05:14	これ、この構文でやってるのかなっていうところだけなんですけど、私火災発生時の消火活動を行う消火要員を有する事務局。
3:05:25	そんな、
3:05:26	良いこと。
3:05:28	してたんでしたっけ。
3:05:31	北海道電力古谷でございます。この分は 79 ページの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:05:38	と女川さんの分を参考にさせていただきますして、括弧Bの補修班の前に書いてございます。
3:05:48	火災発生時における消火活動を行う初期消火要員を有する保修班という公文を参考にさせていただきました。
3:05:57	以上でございます。
3:06:13	規制庁脇本ですね1.0の91ページ。
3:06:19	本店の話が、
3:06:21	書いてあるところなんすけど本店対策本部、
3:06:26	一応
3:06:27	構成は相違は、
3:06:30	体制の相違だって書いていただいているんですけど。
3:06:35	これは役割的には同等なものが書かれているっていう理解でいい。
3:07:20	東海道電力量でございます。本店対策本部の体制については、各社は、
3:07:31	班の構成とかは少し違うところがございますが、
3:07:36	先行他シャーに記載してる内容がきちんと充足してるかどうか、ちょっと確認をさせていただきますして、
3:07:44	本店対策本部の役務についても見直しを検討したいと思います。以上です。
3:07:52	規制庁秋本ですわかりましたまだ大事なところは同等。
3:07:58	以上なのかなってところが、気になっているところで、
3:08:05	パッドにえりコプターとか書いてあるなっていうのが、女川で、
3:08:11	思ったんで、同等なんですよっていう説明していただいてももちろん、
3:08:16	構わないですし、
3:08:19	書けるんだったら書くっていう方法も、説明のロジックとしてはあるかなと思うんで、検討いただければ、
3:08:28	と思います。
3:08:56	規制庁アキモトです1.0の174ページで、
3:09:02	これは全然記載だけなんですけど、
3:09:07	電源確保のところと、濃度低減のところにも書いてあるけどB系Annual空気浄化設備って、
3:09:15	書いてあるのは、B系で正しい感じですか。有井。
3:09:24	すいません発電所。
3:09:26	フォローをいただけますか。1-0-174ページの、
3:09:31	電源確保のB系という記載について、
3:09:36	正しいかどうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:09:38	お答えいただけますか。
3:09:47	帰りに行って、
3:09:50	泊発電所を復興分別夏井でございます。
3:09:56	今回は見ている。
3:10:01	聞こえてます大丈夫です。お願いします。
3:10:07	こちらの記載なんですけど、文系となっておりますけども、新工場シャ ーではB物品になっているという状況もして、
3:10:18	パンチだって、
3:10:23	失礼しました。
3:10:25	分解済み号炉ですね、こちらB系で記載してございますので、ここに つきましてもそのものに向けて記載してございます。
3:10:35	発電主幹以上です。
3:10:38	はい。規制庁秋本です。わかりました。これを、こういう空気浄化設備 って常盤形が経営ってということで、はい、理解しました。
3:10:54	規制庁脇本です。あとは添付の中で、
3:11:03	16-2。
3:11:05	16ってというのは、今回初めてでしたっけ。
3:11:11	北海道電力古谷でございますこちらの1円0.16は、1回目へ提出初め てでございます。
3:11:35	規制庁秋元です。で、16-4ですね、1.016-4 ページで、
3:11:42	下の方なんですけど泊1号及び2号炉は、サイホン現状等による水使用 済みのピット内の、
3:11:51	水の小規模な喪失を想定したんですけど、
3:11:56	小規模な喪失を想定っていうのが、何か、
3:12:02	あれって思っ
3:12:03	て、なんでこれが厳しいんだっけと思ってるんですよ。
3:12:08	でしたっけこれ。
3:12:10	スローし、女川の新宮で、
3:12:14	遠回りは小規模でいいでしょ。
3:12:19	電力古谷でございます。
3:12:20	この表現ですけども3号炉でいうと想定事故2を示しております。1 号炉と2号炉についても3号炉でいう想定事故2を
3:12:35	想定してございます。
3:12:38	3号炉もそうなんですけれども、
3:12:41	想定事項2の冷却系の配管破断。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



3:12:47	を想定事故2として選定しているんですけども、
3:12:51	スロッシングよりも、こちらの方が初期の水位低下量が多いので、我々としては厳しい想定事故2を選定したということでございます。以上です。
3:13:15	北海道電力古谷でございます。そう。
3:13:19	そういう理由が不足してございますのでこの辺りも確認して適正化したいと思います。以上です。
3:18:11	規制庁の片桐です。1点JALのー33ページをお願いします。
3:18:27	下のパラグラフで記載だけだと思うんですけど要員の固執燃料補給活動と、
3:18:35	初期消火活動を行う評価要員を有する半田でここ等が、これ、ここでのいのかないというのがちょっと気になったんですけど。
3:19:08	北海道電力古谷でございます表現少し読みづらいところもあると思いますので、検討して、適正化必要であれば適正開示したいと思います。以上です。同じような記載が1.0-81にもあって、
3:19:27	33と81の記載って女川で結構、そのままそっくりで、具体的に伴の名前が入って、
3:19:34	みたいな感じになってんですけど泊って何かちょっと、
3:19:39	変わっちゃってるのかなっていう気がするのでそこもあわせて見ておいてください。
3:19:46	北海道電力古谷でございます。
3:19:48	申し訳ございません。私の理解がちょっと足りなかったかもしれませんが、81ページの方は、
3:19:56	4行目のところに、事務局、すいません事務局というのが判明所で、
3:20:06	というのと、
3:20:08	一番下の行で業務新伴というのが半名称で、
3:20:15	どうな何々をする、
3:20:18	事務局、何々をする業務支援班とFにまずは記載してございますただ先ほどの等々、有するここはちょっと表現が、
3:20:28	読みづらいと思いますので、見直したいと思います。
3:20:33	以上です。はい。
3:20:35	了解しました。
3:20:47	規制庁適正と1.0617をお願いします。
3:20:52	これ確認だけなんですけど、上に女川でクレーン作業が中止っていうのがあるんですけど、これは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:21:00	泊は屋外作業の中心に含まれてるんでしょうか。
3:21:16	と北海道電力古谷でございます。屋外作業の中止の中にクレーン作業の中止、そういうのも含めまして屋外作業の中止ということで記載してございます。
3:21:28	この辺りは竜巻、
3:21:31	の方のまとめ資料。
3:21:35	見ながら、記載してございます以上です。規制庁で石岡島後、添付の方で1.0. 10、
3:21:45	23 ページをお願いします。
3:21:56	下に赤字、この記載だけなんですけどあとは下の赤字でホワイトボードってあって、
3:22:02	発話内容をホワイトボードOA機器内の共通様式に入力することで良くなっていうふうになっちゃってて、
3:22:12	江藤植野⑥だとホワイトボードに記載Cなので、多分ちょっと補ってあげないと、入力になっちゃうんで、ちょっとそこは、
3:22:21	お願いします。
3:22:23	北海道電力森谷でございます 23 ページ下の④番のところのホワイトボードの記載が正しいと思いますので、検討し、して適正化したいと思います。以上です。
3:22:36	95 先でよろしくをお願いします。あと、1.0 テンジュウの 26 ページ、お願いします。
3:22:47	これは
3:22:48	記載ですけど赤字で炉心損傷防止対策等の原子炉格納容器破損防止対策になってて、
3:22:56	ここは原子炉なくてもいいんじゃないのかなと思うので、確認をお願いします。
3:23:05	当北海道電力古谷でございます。有効性評価側との表現、統一されていないところもあると思いますので確認をして、
3:23:15	適正化したいと思います。以上です。
3:23:17	はい。よろしくをお願いします。あと次最後ですけど 1.0. 16--9 ページお願いします。
3:23:29	一番、540kLはここは八鍬いらないんでしょうか。
3:23:46	北海道電力古谷でございます。540kLに薬は必要でございます。あと
3:23:54	現在燃料のあと評価についてはご指摘もいただいているところで検討中ですんでこの辺り燃料評価等送水ポンプ車の燃料評価も含めまして

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:24:08	検討してこちらは見直す予定でございます以上です。
3:24:13	規制庁柿崎岡下私から以上です。
3:27:02	はい。規制庁秋元です。じゃあ、こちら側からは大体以上ですがウェブも含めて、何か上の方も含めてありますでしょう。
3:27:14	よろしければ宮本です。はい。
3:27:18	どうぞお願いします。すいません。
3:27:20	コメントリストの4番。
3:27:23	地下水排水設備の可搬型なんですけど、
3:27:28	この内容自体は私も理解してるんですけど、比較表で言っている62ページ、
3:27:36	のこのなお書きの書き方はちょっと違うかなと思っていて、
3:27:42	これっていうのは、島根は直でいいと思うんですけど、
3:27:46	泊については3時間って短いことを踏まえて信頼性の確保でこれを確保しますってことになってるので、
3:27:55	直ではなくて、当然必要なものとして上に書くべきじゃないかなと思うんですけどいかがでしょうか。
3:28:04	北海道電力の藤田ですコメント。
3:28:08	承りました。
3:28:11	ここはですね上に入れなかったのは、文章の繋がり上、予備品等の確保、ポツにちょっと繋がりにくいなのがありまして、
3:28:19	下の方に持ってきたんですけども、ただなおにこだわるものではございませんので、ここは、なのではなく補足っていう形ではなく、普通に
3:28:30	何かちょっとうまい形で表現させていただきたいと思います。
3:28:37	はい、お願いします私から以上です。
3:29:12	規制庁秋本ですそれではその他、いかがでしょうか。よろしければ、じゃあ、北海道電力は何かありますでしょうか。
3:29:26	北海道電力特にございません。
3:29:31	規制庁秋本です一応今回また、コメントも出ているので、修正されて、また、
3:29:41	ヒアリングってなると思うので、はい、じゃあ、これで以上で終了にしたいと思います。お疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。